

年 報 36

2019 年度
(平成 31・令和元年度)

2020.9

山梨県埋蔵文化財センター





序

本書は、2019(平成31・令和元)年度に山梨県埋蔵文化財センターが実施した史跡資料の活用業務と発掘調査等の調査研究業務の概要を報告するものです。

史跡資料の活用関係では、銚子塚古墳・丸山塚古墳、甲府城跡といった史跡資料を活用した各種イベントや、シンポジウム・講座・講演会、学校への出前支援事業、職場体験などを催したところ、小さな子供から大人まで16,000人を超える方々の参加をいただきました。

調査研究関係では、記録保存目的の本格的な発掘調査を市川三郷町新町前遺跡、甲州市馬場平遺跡、笛吹市北畠南遺跡の3ヶ所で実施しました。

新町前遺跡では平安時代の終わりから中世にかけての集落跡や土坑、石積みを伴う畦畔で区画された水田や畑が見つかり、当時の農業とそれに伴う土木技術の一端などが明らかになりました。旧石器時代の遺跡として知られている馬場平遺跡では予想に反して縄文時代の土器が埋められた土坑や、黒曜石、500点以上の水晶が集中して出土するなど、川辺に暮らした人々の興味深い生活の痕跡が明らかになりました。武田信虎の叔父である油川信忠の館の伝承地に近い北畠南遺跡では現在の地表面の4、5メートル下から中世の溝状遺構や土坑、古墳時代の集落跡が見つかりました。甲府盆地内の低地における古墳時代集落は類例が少なく、当時の人々の活動痕跡を知るための貴重な事例であることに加え、甲府盆地内の発掘調査の方法を考える上で重要な調査となりました。

整備事業に伴う調査としては、史跡甲府城跡で継続的に実施している石垣の定点観測を実施し、県内分布調査では、遺跡の有無を把握するための試掘調査を9事業27件、小規模工事などに伴う立会調査を2件、踏査を2件実施しました。

当センターでは、埋蔵文化財の調査研究、史跡資料の保存活用、それらに係る情報の発信、学校や生涯学習の場を通じた普及活動等に銳意努めてまいります。当センターが行う埋蔵文化財の保護、活用の取り組みに対し一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

2020年9月

山梨県埋蔵文化財センター

所長 佐久間 浩之





目 次

序文

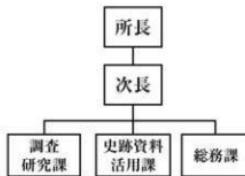
凡例・2019年度発掘調査等遺跡地図・職員組織

第Ⅰ章 史跡資料活用業務	
ふるさとやまなし文化財歴史発見事業(国庫補助事業)	
1 県内埋蔵文化財の体験型活用事業	2
2 散策マップ作成とウォーキングイベント	7
3 教育現場への支援事業	8
4 埋蔵文化財調査の成果公開のための展示会・シンポジウム・講演会等	11
県単独事業	
1 出張展示・体験イベント	14
2 その他事業	16
第Ⅱ章 調査研究業務	
発掘調査等	
1 記録保存のための発掘調査	
1-1 新町前遺跡	26
1-2 馬場平遺跡	28
1-3 北畠南遺跡	30
2 整備事業に伴う調査	
2-1 史跡甲府城跡石垣維持管理事業	32
3 県内分布調査	
3-1 中央新幹線(品川・名古屋間)建設工事事業に伴う試掘調査	34
3-2 中央新幹線成島保守基地建設工事に伴う試掘調査	38
3-3 二又第1遺跡・二又第2遺跡	38
3-4 中央新幹線高下作業ヤード建設工事に伴う試掘調査(包蔵地外)	38
3-5 新山梨環状道路東部区間II期建設工事に伴う試掘調査 《北畠南遺跡・包蔵地外》	39
3-6 一般国道411号御屋敷拡幅事業に伴う試掘調査《馬場平遺跡》	39
3-7 公園施設(四ツ目垣)設置事業に伴う試掘・立会調査《史跡甲府城跡》	40
3-8 大月警察署上谷交番建設工事に伴う試掘調査《三ノ瀬遺跡》	41
3-9 高速自動車国道中部横断自動車道新設工事に伴う試掘調査	41
3-10 市川郵便局新築工事事業に伴う試掘調査	42
3-11 県立北杜高校跡先場建設事業に伴う立会調査《原町農業高校前遺跡》	42
3-12 舞鶴公園武徳殿改修工事に伴う立会調査《史跡甲府城跡》	43
3-13 中央新幹線への電力供給を目的とした送電線建設事業に伴う踏査 《殿林遺跡・安道寺遺跡》	43
3-14 国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業に伴う踏査	44
第Ⅲ章 県内の概況	
1 届出件数と内容	45
2 発掘調査	45
3 県・国指定有形文化財(考古資料)及び県・国指定史跡	45
4 発掘調査の成果と保存整備事業	45
5 発掘調査体制	46
届出件数・発掘調査件数の推移・2019年度県内発掘調査一覧表	47

凡 例

- 本書は、2019年度の山梨県埋蔵文化財センターの事業をまとめたものである。
- 右記の地図は、2019年度発掘調査遺跡の位置図である。なお、地図中の番号は、25頁の発掘調査の表に対応している。

2019(平成31・令和元)年度 組織図・職員組織



所 長	馬場 博樹
次 長(兼)	高野 玄明

2019年度 発掘調査等遺跡位置図



総務課	
課長(兼)	高野 玄明
副主査	齋川 征志郎
主任	廣野 澄香
主任	後藤 亮太
非常勤嘱託	菅野 友紀
非常勤嘱託	原 未帆

調査研究課	
課長	笠原 みゆき
主幹・文化財主事	吉岡 弘樹
副主幹・文化財主事	宮里 学
主査・文化財主事	深澤 一史
主任・文化財主事	數野 優
主任・文化財主事	御山 亮済
文化財主事	熊谷 晋祐
文化財主事	岩永 衍貴
非常勤嘱託	小池 準一
非常勤嘱託	保坂 悠太
臨時職員	高左右 裕

史跡資料活用課	
課長	今福利恵
主査・文化財主事	依田 幸浩
副主査・文化財主事	正木 季洋
副主査・文化財主事	飯塚 剛
主任・文化財主事	柴田 亮平
文化財主事	北澤 宏明
文化財主事	佐賀 桃子
非常勤嘱託	長田 隆志
非常勤嘱託	中込 実
非常勤嘱託	古屋 ひろみ



第Ⅰ章 史跡資料活用業務

ふるさとやまなし文化財歴史発見事業（国庫補助事業）

1 県内埋蔵文化財の体験型活用事業

番号	イベント名	参加人数
1・1	古墳でクエスト冒険の旅-	161
1・2	やまなしチャレンジプラザ	143
1・3	小浜・甲府の夏祭り	72
1・4	マチナカ博物館	1,110
1・5	甲府城青空教室	558
1・6	ひらけ玉手箱	776
1・7	Jomon FES	298
1・8	県民の日イベント 古墳からの挑戦状	310
1・9	ヨコブリッズやまなし	11
1・10	県民の日記念行事 小瀬会場 マチナカ博物館 織文芸術の極み！山梨の縄文土器にさわろう！	2,817

2 散策マップ作成とウォーキングイベント

番号	イベント名	参加人数
2・1	私も古墳につれでって 2・私を古墳につれでって 3	64

3 教育現場への支援事業

番号	イベント名	参加人数
3・1	古代を実体験！授業作り研修会	5
3・2	出版支援事業・考古資料貸し出し	676
3・3	教材用貸出資料再整備事業	-

4 埋蔵文化財調査の成果公開のための展示会・シンポジウム・講演会等

番号	イベント名	参加人数
4・1	史跡甲府城跡縄手橋 常設展	-
4・2	史跡甲府城跡 跡門展「国史跡甲府城跡の魅力はココにある」	1,131
4・3	知らう山梨の歴史！山梨の遺跡発掘展 2020	-
4・4	埋蔵文化財センター・シンポジウム「輝け！やまなし古墳めぐりグランプリ」	117
4・5	遺跡調査発表会	60

県単独事業

1 出張展示・体験イベント

番号	イベント名	参加人数
1・1	宮士の国やまなしフェア(イオンモール津田沼店)での縄文土器出張展示	2,065
1・2	JR上野駅「やまなし産直市」観光キャラバン エキナカ博物館	238
1・3	黒曜石のふるさと祭り	383
1・4	マチナカ博物館(イオンモール甲府昭和)	1,570
1・5	令和元年度日本遺産サミットin高知	897

2 その他事業

番号	事業名	参加人数
2・1	免振体験・遺跡見学会	-
2・2	職場体験学習	31
2・3	巡回展	2,123
2・4	第32回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会	32
2・5	広報誌「理文やまなし」・研究紀要・年報	-
2・6	道路データ管理(GIS)	-
2・7	報告書リボン祭り	-
2・8	埋蔵文化財センター・考古博物館峠北収藏施設	-
2・9	古墳・購入図書	-
2・10	出張講座等	727
2・11	収蔵資料の貸し出し及び掲載許可一覧	-
合 計		16,375



ふるさとやまなし文化財歴史発見事業（国庫補助事業）

1 県内埋蔵文化財の体験型活用事業

1-1 古墳でエクスカーション冒険の旅－

開催日：2019年5月3日（金）・4日（土）

対象・参加人数：小中学生から一般 161名

会場：史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳、甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園

内容：史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳などの甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園内の古墳の価値を広く周知することを目的とし、各古墳にちなんだクイズや実際の出土品に触れる体験することで、子どもたちの好奇心をそそるイベントとなった。

- ①かんかん塚古墳「古代の馬のナゾを追おう！」
- ②丸山塚古墳「古墳時代の出土品にさわろう！」
- ③銚子塚古墳前方部「古墳時代のものがたりを知ろう！」
- ④銚子塚古墳後円部「銚子塚古墳の石室のヒミツをあばこう！」
- ⑤オオキミからのごほうび



古墳時代の出土品にさわろう！



古墳時代のものがたりを知ろう！

1-2 やまなしチャレンジプラザ

開催日：2019年8月3日（土）・4日（日）

対象・参加人数：小中学生から一般 143名

会場：山梨県防災新館 甲府城石垣展示室

内容：山梨県防災新館で開催されたやまなしチャレンジプラザ

実行委員会主催イベント「やまなしチャレンジプラザ」において、埋蔵文化財関連のブースを出展し、石垣つめるくん体験や石垣解説をとおして、史跡甲府城跡の歴史や石垣のみどころを紹介した。



やまなしチャレンジプラザ



1-3 小江戸甲府の夏祭り

開催日：2019年8月11日（日）

対象・参加人数：小中学生から一般 72名

会場：史跡甲府城跡（舞鶴城公園）

内容：史跡甲府城跡で開催された甲府市の主催イベント「小江戸甲府の夏祭り」に埋蔵文化財関連のブースを出展し、史跡甲府城跡の歴史や石垣のみどころを知るために体験活動等を行った。



小江戸甲府の夏祭り

1-4 マチナ力博物館

開催日：2019年8月15日（木）・16日（金）

対象・参加人数：幼児・小中学生から一般 1,110名

会場：山梨県防災新館やまなしプラザオーブンスクエア

内容：国内外から芸術性の高さが評価されている山梨県の縄文土器の魅力を発信するため、多くの人が集まる山梨県防災新館において出張展示を行い、実際に縄文土器や石器に触れる体験や縄文衣装体験等の体験活動を行った。また、参加者には山梨の縄文土器の魅力をコンパクトに説明した小冊子「JOMON 山梨」などを配布した。



展示の様子



縄文土器にさわろう



文様付け体験



縄文衣装体験



1-5 甲府城青空教室

開催日：2019年5月9日(木)、16日(木)、17日(金)、
11月22日(金)

対象・参加人数：中学生 558名

会場：史跡甲府城跡（舞鶴城公園）

内容：県内の中学校が実施している校外学習に合わせ、甲府城に訪れる中学生を対象とした。2019年2月に国史跡に指定された甲府城跡の歴史や価値、野面積み石垣の技術や価値について、実際に甲府城内を歩きながら解説した。



甲府城青空教室

1-6 ひらけ！玉手箱

開催日：2019年11月3日(日・祝)

対象・参加人数：幼児・小中学生から一般 776名

会場：史跡甲府城跡（舞鶴城公園）

内容：埋蔵文化財センターでは資料普及事業の一環として、郷土の文化財や伝統、歴史に関心を深めてもらうことを目的とした「ひらけ！玉手箱」を過去8回開催し、各回1,000名以上の参加を得てきた。甲府城や城下町への関心が高まっている中、本年度も広く本県の歴史や文化を体感する文化財のお祭りを開催し、埋蔵文化財への興味と理解を深める機会とした。令和元年度は、甲府城に関連したクイズや様々な体験活動などを通じて、甲府城により親しんでもらうことを目的としたブースを8箇所設置して開催した。

〔主な内容〕

- ①甲府城ウォーカラリーゲーム「甲府城なぞ解き道中」
- ②江戸時代を体験：千両箱体験、出土瓦で拓本体験、火縄銃ゴム鉄砲体験
- ③甲府城で郷土の伝統技術復活：石積み体験
- ④郷土の歴史を勉強しよう：甲府城ぬりえ・ペーパークラフト、甲府城で鬼ごっこ、パネル展



石積み体験



甲府城で鬼ごっこ



1-7 Jomon FES

開催日: 2019年10月27日(日)

対象・参加人数: 幼児・小中学生から一般 298名

会場: 甲府駅北口よっちゃんばれ広場

内容: 縄文王国山梨実行委員会の主催イベント「Jomon FES」に「縄文土器の文様付け体験」、「縄文土器おさわり体験」を出した。山梨県が世界に誇る高い芸術性を備えた縄文土器の魅力を知ってもらうための体験活動を行った。



縄文土器おさわり体験



縄文土器の文様付け体験

1-8 県民の日イベント 古墳からの挑戦状

開催日: 2019年11月20日(水)

対象・参加人数: 小中学生から一般 310名

会場: 史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳、甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園

内容: 史跡銚子塚古墳附丸山塚古墳や公園内にある古墳とその出土品を題材にしたクイズ、出土品に触れる体験、火起こし

などの体験を実施し、地域の歴史へ親しみをきっかけを提供した。今回は、クイズラリー形式をとり、ワークシートを配布した。

ワークシートは、各イベントを終了するとそれぞれの古墳の解説文が完成するようになっており、楽しみながら学習できる機会となった。



古墳時代のマツリを体験(丸山塚古墳)



火起こしをしてみよう(銚子塚古墳)

1-9 ジョブキッズやまなし

開催日：2019年9月14日（土）、10月22日（火・祝）

対象・参加人数：県内在住の小学生 11名

会場：山梨県立考古博物館エントランス

内容：ジョブキッズやまなしは、YBS山梨放送が開局65周年の企画として県内在住の小学生を対象にした職業体験イベントであり、地元企業や公共施設が参画して行われた事業である。埋蔵文化財センターと考古博物館は、擬似的な発掘体験と縄文土器の拓本体験、縄文土器の展示体験を行った。

10月22日（火・祝）ではYBSラジオスコーパーが取材に訪れ、イベントの生中継が行われた。



疑似発掘体験



縄文土器の展示体験

1-10 県民の日記念行事小瀬会場 マチナカ博物館 縄文芸術の極み！山梨の縄文土器にさわろう！

開催日：2019年11月16日（土）・17日（日）

対象・参加人数：幼児・小中学生から一般 2,817名

会場：小瀬スポーツ公園

内容：県民の日記念行事実行委員会主催イベント「第34回県民の日記念行事」において、国内外から芸術性の高さが評価されている山梨県の縄文土器の魅力を発信するブースを出した。日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のパネル展示や、縄文土器に触れる体験活動のほか、ステージにおいて縄文時代に関するPRを行った。



縄文土器にさわる体験



縄文PRの様子



2 散策マップ作成とウォーキングイベント

2-1 私も古墳につれてって 2・私を古墳につれてって 3

開催日: 2019年5月25日(土)、2019年9月6日(金) ~ 2020年2月16日(日)

内容: 県下全城の埋蔵文化財や歴史資料・文化財の活用を促進するために、

平成30年度から令和2年度までの3ヶ年間の予定で、「地域の出土品お宝マップ」作成事業として、文化財のウォーキングマップを作成している。

今年度は、甲府盆地北東部地域を対象として作成した。このマップの配布と対象地域のウォーキングイベントを実施することで、地域の歴史文化や文化財の再発見と普及を行った。

①ウォーキングマップ 「ててっ! やまなし古墳・お宝マップ 2～甲府盆地北東部編～」

平成31年度は、甲府市東部から甲州市にかけての甲府盆地北東部を対象に、古墳を中心としたウォーキングガイドマップを作成した。この地域は、横根・桜井積石塚古墳群や春日居古墳群など、特殊な積石塚古墳が密集した特徴的な地域である。また、寺本寺などの古墳時代から奈良時代へと移り変わる時期の遺跡が分布し、古代甲斐国の中的な地域として重要である。これらの古墳や遺跡と、そこから発掘された出土品を紹介し、歴史文化や文化財の再発見と普及を行った。

②ウォーキングイベント「私も古墳につれてって 2-旧中道町の古墳めぐり」

開催日: 2019年5月25日(土)

参加人数: 幼児・小中学生から一般 29名

内容: 昨年度実施した文化財ウォーキングが好評であったため、今年度も同地域の甲府市(旧中道町)に所在する古墳や遺跡などを散策し、古墳の立地や出土遺物について解説した。

③ウォーキングイベント「私を古墳につれてって3-山梨市岩下地城の古墳めぐり」

開催日: 2020年2月16日(日)

参加人数: 幼児・小中学生から一般 35名

内容: 山梨市岩下地城に所在する古墳や寺院などを歩いた。実際に石室内に入り、石室の構造についての説明や古墳の立地について説明し、地域の文化財について理解を深めた。



ててっ! やまなし古墳・お宝マップ
～甲府盆地北東部編～



私も古墳につれてって 2



私を古墳につれてって 3

3 教育現場への支援事業

3-1 古代を実体験! 授業作り研修会

開催日: 2019年8月6日(火)

対象・参加人数: 小学校教諭2名・特別支援学校教諭2名・

総合教育センター1名

会場: 風土記の丘研修センター 実習室

内容: 県内の公立学校教員が、「社会科」や「総合的な学習の時間」の授業教材として考古資料の適切な取り扱い方、授業への活用方法について学ぶ研修会を行った。

午前中は、当センターの業務内容や、出前支援事業・

考古資料貸出についての講義と土器や石器の取り扱い

方・梱包の方法についての説明を行った。午後は、公

開活用事業や出前支援事業で行っている勾玉づくりや火起こし体験を実施した。研修会の最後には、当センター職員とともに、「考古資料をどう活かすか」をテーマに討議を行った。



古代を実体験! 授業作り研修会の様子

3-2 出前支援事業・考古資料貸し出し

開催日: 通年

対象・人数: 小学校・中学校・高等学校・特別支援学校

延べ 676 名

内容: 当センターでは、県内で育つ子どもたちが、郷土の歴史に親しみ、理解を深めるため小学校・中学校・高等学校・特別支援学校と連携し、考古資料を活用した次の2事業を行っている。

①出前支援事業

目的: 当センター職員が学校へ赴き、授業を支援する取り組み。

内容: 繩文土器作り、勾玉作り、火起こし体験など。



出前支援事業(縄文土器作り)

②考古資料貸出

目的: 土器や石器をはじめとする考古資料を学校現場に貸し出し、生徒が発掘された本物の資料に触ることで、より深い理解を提供することを目的とする。

内容: 縄文時代から平安時代の土器や石器、古墳時代のガラス玉や近世のキセル、古墳時代の青銅鏡や木製品のレプリカなどをケースに収納し、教員が希望する資料を貸し出す。

3-3 教材用貸出資料再整理事業

開催日: 2020年1月27日(月)~2月26日(水)

内容: 当センターでは、脆弱で運搬に不向きなために活用頻度が低かった資料について、これまで以上の活用を進めることを目的に、出土品貸出キットを整備し、学校等での地域学習事業等に活用してきたが、近年、学校等からの出土品貸出のニーズが高まり、出土品キットが不足する状況となつた。

このことから、平成30年度から令和2年度の3カ年間の予定で、出土品貸出キットのさらなる整備を進めることとし、令和元年度は主に山梨県笛吹市にある二之宮遺跡・姥塚遺跡の出土資料のうち、教材用資料の少ない土師器の増や灰釉陶器などの器種を含む古墳~平安時代の土器15点について、貸出キットとして整備した。



令和元年度 教材用貸出資料再整理事業 補修・補強資料一覧

No.	時代	種別	器形	所在地	遺跡名	出土地点	報告書掲載場所			注記
							報告書名	図版	番号	
1	古墳	土器	土師器・瓶	笛吹市	二之宮		第23集	-		519
2	古墳	土器	須恵器・蓋	笛吹市	二之宮	299 住	第23集	図版第 560 図 299 住	2	二之宮 299 住 P-10
3	平安	土器	須恵器・蓋	笛吹市	二之宮	75 住	第23集	図版第 382 図 75 住	3	二之宮 75 住 P-1
4	平安	土器	土師器・壺	笛吹市	二之宮	297 住	第23集	-		二之宮 297 住 P-1
5	古墳	土器	土師器・壺	笛吹市	二之宮	2 住	第23集	-		二之宮 2 住
6	平安	土器	土師器・壺	笛吹市	二之宮	II 住	第23集	-		二の宮 II 住 P-1
7	平安	土器	土師器・甕	笛吹市	二之宮	68 住	第23集	図版 662 図	8	二之宮西 68 住カマド P-1
8	平安	土器	土師器・蓋	笛吹市	二之宮	78 住	第23集	-		二ノ宮 78 住 P-3
9	平安	土器	土師器・壺	笛吹市	二之宮	215 住	第23集	図版第 485 図 215 住	2	二之宮 215 住 P-24
10	古墳	土器	土師器・高壺	笛吹市	姥塚	93 住	第24集	第 227 図	17	姥塚 93 住 P-4
11	古墳	土器	土師器・高壺	笛吹市	姥塚	3 住	第24集	第 118 図	14	姥塚 3 住 P-104
12	古墳	土器	須恵器・壺	笛吹市	姥塚	82 住	第24集	第 215 図	1	姥塚 82 住 P-22
13	古墳	土器	土師器・壺	笛吹市	姥塚	33 住	第24集	第 152 図	5	姥塚 33 住 P-11
14	平安	陶器	灰釉陶器・壺	笛吹市	姥塚	表採	第24集	-		表採
15	平安	陶器	灰釉陶器・壺	笛吹市	姥塚	101 住	第24集	第 236 図	1	姥塚 101 住 P-4



補修・補強作業



No.1



No.2



No.3



No.4



No.5



No.6



No.7



No.8



No.9



No.10



No.11



No.12



No.13



No.14



No.15





4 埋蔵文化財調査の成果公開のための展示会・シンポジウム・講演会等

4-1 史跡甲府城跡稲荷櫓 常設展

開催日: 2019年4月1日(月)～2020年3月31日(火)

対象: 小中学生から一般

会場: 史跡甲府城跡 稲荷櫓

内容: 稲荷櫓で実施している常設展では、甲府城跡および

甲府城下町遺跡を紹介するパネル展示や石垣補修事業についての展示等を実施している。甲府城跡では、調査で出土した遺物(瓦や釘など)や石垣の築造に使われる石工道具の展示を行い、甲府城下町遺跡では、出土品を発掘調査成果の解説パネルとともに展示している。また、本年度は、稲荷櫓1階北側通路部分の展示を一部リニューアルし、甲府城跡および甲府城下町遺跡から発見された遺構・遺物を实物やパネルで紹介した。



稲荷櫓での遺物・パネル展示

4-2 史跡甲府城跡鉄門(くろがねもん)展「国史跡甲府城跡の魅力はココにある」

開催日: 2019年4月5日(金)～2019年4月14日(日)

対象・参加人数: 小中学生から一般 1,131名

会場: 史跡甲府城跡 鉄門

内容: 史跡甲府城跡は、野面積み石垣が良好な状態で残る

東日本でも有数の織豊系城郭として評価されている。例年、信玄公祭りに併せて史跡甲府城跡鉄門で甲府城の価値をテーマにした展示会を開催することで、県民の甲府城に対する正しい理解と興味・関心を高める機会としている。第19回目となる今回は2019年2月に甲府城跡が国史跡に指定されたことを記念して、指定された理由を取り上げ、甲府城の魅力をパネル展示了。また、同会場内において、石積み体験キット「石垣つめるくん」を使った甲府城の野面積み石垣の石積み疑似体験も、信玄公祭り期間の4月5日から4月7日までの間で実施した。



史跡甲府城跡鉄門展の様子

4-3 知ろう山梨の歴史！山梨の遺跡発掘展 2020

開催日: 2020年3月14日(土)～4月12日(日) ※開催中止

会場: 山梨県立考古博物館 企画展示室

内容: 令和元年度に山梨県内で実施された発掘調査(県教育委員会、市町村教育委員会および民間団体も含む)の成果の概要や県埋蔵文化財センターが実施した普及活動の成果等を写真パネルや出土遺物の展示により、わかりやすく広く一般県民に紹介する展示会である。今回は新型コロナウィルス感染症拡大防止のため開催中止となったが、「山梨の遺跡発掘展 2020 デジタルミュージアム」として県埋蔵文化財センターのホームページにおいて公開を行った。

I. 最新情報(県埋蔵文化財センター)

馬場平遺跡(甲州市・縄文)、新町前遺跡(市川三郷町・平安・中世)、北畠南遺跡(笛吹市・古墳・中世)、県内分布調査(県内各地)

II. 最新情報(各市町村教育委員会等)

金山林遺跡(山梨市・公益財團法人山梨文化財研究所・縄文・弥生・古墳・平安)、中原遺跡(北杜市・弥生)、御岳山遺跡(第10次調査)(甲斐市・弥生・古墳・平安・中世)、青木東田遺跡(韮崎市・平安・中世)、榎原・天神遺跡(第3地点)(南アルプス市・平安・中世)、大木戸遺跡(甲州市・公益財團法人山梨文化財研究所・平安)、史跡武田氏館跡(味噌曲輪地点)(甲府市・中世・近世)



III. 遺跡を活かす・伝える

日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」関連展示、史跡甲府城跡石垣維持管理事業、資料普及事業



会場の様子



会場の様子



金山林遺跡



中原遺跡



4-4 埋蔵文化財センターシンポジウム「輝け!やまなし古墳めぐりグランプリ」

開催日:2020年2月9日(日)

対象・参加人数:一般117名

会場:山梨県防災新館やまなしプラザオープンスクエア

内容:当センターでは、2004年度よりほぼ例年埋蔵文化財センターシンポジウムを開催してきた。今年度は、甲斐銚子塚古墳と丸山塚古墳が国の史跡に指定されてから90年を迎えるメモリアルイヤーであり、改めて県内の古墳がもつ魅力や面白さなどを広く知りたいことを目的として、「輝け!やまなし古墳めぐりグランプリ」を開催した。シンポジウムでは、県内の古墳についての基調講演を行ったあと、県内各自治体の職員である古墳めぐりのプロ(コラボ)が、それぞれの古墳や、周辺にあるオススメスポットなどを含めた「古墳めぐり」をプレゼンテーションし、古墳のもつ面白さや見どころを紹介した。来場者には審査員として「古墳めぐり」に投票してもらい、各賞を決定した。あわせて、県内の古墳を全国的な視点から評価するために古墳時代の研究者による解説を行い、古墳への理解を深めた。また、当日は同会場において、シンポジウムで紹介した古墳の写真パネルやウォーキングマップの展示や各自治体が作成したパンフレット類の配布コーナーを設け、さらなる山梨の古墳がもつ魅力の発信につとめた。

【基調講演】「山梨の古墳の見どころ～甲府盆地での古墳文化の広がり～」

末木健(山梨県考古学協会 会長)

【古墳めぐりグランプリ】

報告1:「山梨の古墳時代、はじまりの丘～甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園周辺の古墳～」

北澤宏明(山梨県埋蔵文化財センター)

報告2:「敷島大塚古墳周辺・赤坂台古墳群～古墳時代と飛鳥時代のはざま～」

長谷川哲也(甲斐市教育委員会)

報告3:「市之瀬台地を歩く～子供たちが伝える古墳の散歩道～」保阪太一(南アルプス市教育委員会)

報告4:「巨大な横穴式石室 湯村・千塚古墳群」平塚洋一(甲府市教育委員会)

報告5:「春日居古墳群の古墳～古墳時代後期に造られた土盛墳と積石塚を訪ねて～」

内田裕一(笛吹市教育委員会)

報告6:「富士山の噴火から人々を救った? 花崗の古墳! ~時代を超えたパワースポット藤井平~」

関間俊明(韮崎市教育委員会)

【解説】「てっ!すごいじゃん! 山梨の古墳～『甲斐』外事例との比較から～」

深澤太郎(國學院大學博物館 准教授)



シンポジウム表彰式



パネル展示会場の様子

4-5 遺跡調査発表会

開催日：上半期 2019年10月19日(土)

下半期 新型コロナウイルスにより延期

対象・参加人数：一般 上半期60名

会場：上半期 帝京大学山梨文化財研究所大ホール

内容：平成31年度に遺跡調査をおこなった県内各地の遺跡とその価値について、市町村調査担当者がパワーポイントなどを交えながら解説を行った。



上半期遺跡調査発表会

【上半期遺跡調査発表会】

(発表遺跡1) 中原遺跡（北杜市）

北杜市教育委員会 生山優実

(発表遺跡2) 大木戸遺跡（甲州市）

(公財) 山梨文化財研究所 宮澤公雄

(発表遺跡3) 榎原・天神遺跡（南アルプス市）

南アルプス市教育委員会 斎藤秀樹

(発表遺跡4) 武田氏館跡・味噌曲輪地点（甲府市）

甲府市教育委員会 鷹野義朗

県単独事業

1 出張展示・体験イベント

1-1 富士の国やまなしフェア（イオンモール津田沼）での縄文土器出張展示

開催日：2019年7月20日(土)・21日(日)

対象・参加人数：幼児・小中高校生から一般 2,065名

会場：イオンモール津田沼（千葉県）

内容：山梨県とイオンの包括提携協定に基づき開催される「富士の国やまなしフェア」において、山梨の歴史文化に感心と多くの見どころを知ってもらい、旅行などでの考古博物館などの関連施設をふくめた来県へと誘導することを目的としている。

日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」構成文化財である山梨県の縄文土器の展示・解説、本物の土器にさわる体験、拓本体験を行った。



縄文土器にさわる体験



縄文土器の拓本体験

1-2 JR上野駅「やまなし産直市」観光キャラバン エキナカ博物館

開催日：2019年8月23日（金）

対象・参加人数：幼児・小中高校生から一般 238名

会場：JR上野駅 中央改札外グランドコンコース

内容：JR東日本および（公社）やまなし観光推進機構が主催するJR上野駅「やまなし産直市」観光キャラバンにおいて日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のPRの一環として、エキナカ博物館を開催した。縄文土器の展示や本物の土器にさわる体験、拓本体験を行い、山梨県の縄文土器の魅力を発信した。



会場の様子



イベントの様子

1-3 黒耀石のふるさと祭り

開催日：2019年8月25日（日）

対象・参加人数：幼児・小中高校生から一般 383名

会場：黒耀石体験ミュージアム（長野県長和町）

内容：黒耀石体験ミュージアムで例年行われている黒耀石のふるさと祭りにおいて、日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」のPRのため、長野県・山梨県の日本遺産構成団体が参加した。本物の縄文土器にさわる体験と拓本体験をおこない、山梨県の縄文土器の魅力を知っていただいた。



縄文土器にさわる体験



縄文土器の拓本体験

1-4 マチナカ博物館（イオンモール甲府昭和）

開催日：2019年9月15日（日）

対象・参加人数：幼児・小中高校生から一般 1,570名

会場：イオンモール甲府昭和

内容：国内外から芸術性の高さが評価されている山梨県の縄文土器の魅力を発信するため、多くの人が集まるイオ

ンモール甲府昭和において実施した。縄文土器やパネルの展示・解説、縄文土器にさわる体験、縄文土器拓本体験、文様付け体験、黒曜石にさわる体験を行い、山梨県の縄文文化や日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」への関心を誘った。



黒曜石にさわる体験



縄文土器の拓本体験

1-5 令和元年度日本遺産サミット in 高知

開催日: 2019年10月12日(土)・13日(日)

対象・参加人数: 一般897人

会場: 帯屋町アーケード

内容: 地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本文化・伝統を語る「日本遺産」が一堂に会する日本遺産サミットが開催され、シンポジウムや公開講座とともに、認定された全国83の日本遺産をPRするためのイベントが行われた。今回は、長野県と山梨県で認定された「星降る中部高地の縄文世界」のPRのために出し展し、縄文土器と黒曜石の実物展示及び、お触り体験を行った。また、配布用の黒曜石やパンフレットを参加者に配布し、日本遺産のストーリーの魅力を伝える良い機会となった。なお12日は台風のためPRイベントは中止となった。



PRイベントの様子

2 その他事業

2-1 発掘体験・遺跡見学会

開催日: 2020年1月18日(土)

対象: 幼児、小中高校生から一般

内容: 島根地域単位制・総合制高校建設事業に伴い実施された新町前遺跡(第2次)発掘調査地点で実施する予定で準備したが、当日雨天のため開催を中止した。

2-2 職場体験学習

県内の小学校・中学校・特別支援学校の児童生徒を合計31名受け入れた。児童生徒には、発掘調査現場見学や出土品の整理作業、イベントの準備等を体験していただいた。



2-3 巡回展

3月9日(土)から4月7日(日)まで山梨県立考古博物館で開催していた「知ろう!山梨の遺跡発掘展2019」で使用した展示パネルを県下に広く貸し出し、公開することによって、埋蔵文化財に対する理解と郷土への歴史的認識を深めた。

- 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館:湯之奥金山博物館エントランスホール
開催日:2019年5月21日(火)～6月9日(日) 入場者:1,105名

- 上野原市教育委員会:上野原市文化ホール(もみじホール)2階ロビー
開催日:2019年8月6日(火)～8月12日(月・祝) 入場者:222名

- 甲府市教育委員会:甲府市村記念館
開催日:2019年11月19日(火)～11月29日(金) 入場者:776名

- 甲州市教育委員会:甲州市民文化会館(甲州市中央公民館)歴史民俗資料室
開催日:2020年2月15日(土)～3月1日(日) 入場者:20名

2-4 第32回市町村埋蔵文化財発掘担当者研修会

開催日:2019年11月8日(金)

会場:甲斐風土記の丘研修センター講堂

テーマ:熊本地震と埋蔵文化財専門職員

－震災後一週間の激務とその予防－

講師:熊本県立装飾古墳館 分館

歴史公園胸智城・温故創生館

館長 村崎孝宏

対象・参加人数:県内文化財担当職員32人

内容:東海沖地震等、本県はいつ被災地となつても不思議ではない環境にあるため、過去にも災害に係る研修を実施して

きたが、改めて、近年の自然災害で甚大な被害を受けた熊本県の事例を参考に災害に係る研修を計画した。

特に2016年(平成28年)の熊本地震からの一定の時間



村崎孝宏氏による講演の様子

が経ち、広域な市街地の文化財被害状況の把握が見通せてきたことを契機に、被災後一週間で文化財専門職員にどのような対応が求められたのか。

また、被災経験から文化財被害予防や日常的に有効な対策、県市町村の横断的な支援体制の在り方を実体験から講義いただき、研修した。

質疑応答では、災害直後の初動対応や予めの指針や役割分担に関する内容が、参加専門職員から出された。

2-5 広報誌「埋文やまなし」・研究紀要・年報

(1) 広報誌「埋文やまなし」第60号～第62号の刊行

各号ごとに異なるテーマで特集を組み、埋文センターの活動を広報する内容とした。

第60号

- 甲斐風土記の丘曾根丘陵公園周辺の古墳・埋蔵文化財センターのお仕事

国指定史跡銚子塚古墳や甲斐風土記の丘・曾根丘陵公園周辺の古墳や遺跡の概要と見どころを紹介した。また、新町前遺跡の整理作業の状況を報告した。

第61号

- 学校支援特集・最近の埋蔵文化財センターのおしごと

当センターが県内の学校に対して行っている出前支援事業や考古資料貸出事業や新町前遺跡の整理作業、馬場平遺跡の発掘調査について紹介した。

第62号

- いにしえの生活を探る・埋文新聞

埋蔵文化財の調査から発掘調査報告書の作成までの過程を分かりやすい、すころく形式にして紹介した。また北畠南造

跡の発掘調査、新町前遺跡・馬場平遺跡の整理作業の状況を報告した。

(2) 研究紀要36と年報35の刊行

職員の研究論考等をまとめた研究紀要36と埋蔵文化財センターの2018年度の事業をまとめた年報35を刊行した。

2-6 遺跡データ管理 (GIS)

2019年度の遺跡管理システム (Geographic Information System) に登録した遺跡の発見や範囲の変更は、4件であった。内訳は、新規の遺跡発見3件(1. 笛吹市 北畑南遺跡、2. 南巨摩郡富士川町 田利根川堤防遺跡、3. 西八代郡市川三郷町 御陣屋遺跡)、遺跡の範囲変更修正1件(1. 西八代郡市川三郷町 新町前遺跡)であった。

2-7 報告書リポジトリ

2017年度までに第315集まで実施し、今年度は、2018年度と2019年度刊行の調査報告書第316集から第325集までの10冊と年報29から35までの7冊のPDFデータを(独)国立文化財機構奈良文化財研究所の「全国遺跡報告総覧」に提供した。

2-8 埋蔵文化財センター・考古博物館峡北収蔵施設

2019年度は、上コブケ遺跡E区の出土品を125箱、甲府城跡(山梨県民会館跡地周辺)の出土品5箱を新規に収藏した。また、247箱の木製品の収蔵場所を考古博物館から峡北収蔵施設に移動した。

2-9 寄贈・購入図書

図書は、毎年度、約2,000～3,000冊が寄贈・購入されている。寄贈図書の内容は、全国の都道府県・市町村から送付される発掘調査報告書、年報、研究紀要、博物館・資料館等の企画展図録などである。その他、業務に関する考古学や歴史の専門書・学術雑誌を購入している。

2019年度は、2,342冊の図書を登録し、専門書・学術雑誌の購入は85冊である。総登録数、約109,247冊に大塚文庫約11,000冊を加えると約120,247冊が収蔵されていることになる。登録された収蔵データは、図書データベース(マイクロソフト社データベースソフトアクセス)で管理し、蔵書の検索もできるようにしている。2013年度からは、使用頻度が低いと思われる図書や重複している図書を、埋蔵文化財センター・考古博物館峡北収蔵施設へ搬出・整理(台帳制作)しているが、依然として閲覧スペースを含めた収蔵スペースの確保・整理が大きな課題となっている。

2-10 出張講座等

県政出張講座・ことぶき勤学院といった県の事業や県内市町村からの依頼により、職員が講師をつとめる講座を行い、727人の参加を得て、県の歴史や遺跡について一般の方々に知っていただく機会となった。

2-11 収蔵資料貸し出し及び掲載許可一覧

収蔵資料、収蔵画像資料・掲載の許可、古代衣装の貸し出し、名義後援の一覧を19ページ～24ページに示す。



収蔵資料貸出し一覧

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
1	4.1 ~ 3.31	私立北杜高等学校	郷土教育に活用するため	原町農業高校前遺跡 繩文土器 15 点
2	4.1 ~ 3.31	山梨中銀金融資料館	貨幣史コーナーに常設展示するため	金の尾遺跡 弁生土器 1 点 花島山遺跡 石器 10 点 米倉山 B 遺跡 貨泉 1 点 東山北遺跡 水晶草石 1 点・水晶製勾玉 1 点 甲ノ原遺跡 水晶原石 1 点 大木戸遺跡 水晶製石鏡 1 点・块状耳飾り 1 点 美通遺跡 塗装勾玉 1 点 塙瀬下原遺跡 重輪 1 点 頭無遺跡 大珠 1 点 金の尾遺跡 重輪 1 点・管玉 1 点 四つ塙古墳群 めのう製勾玉 1 点 反栗 2 号墳 水晶製切小玉 3 点 考古博物館構内古墳 石製勾玉 3 点・丸玉 16 点 米倉山 B 遺跡 1 号墳 磐玉製管玉 2 点 米倉山 B 遺跡 1 号墳 優美珠 2 点・優美珠彈頭 1 点
3	4.1 ~ 3.31	宝石美術専門学校	ジュエリーミュージアムにて常設展示のため	横針前久保遺跡 石器 25 点 天神遺跡 繩文土器 12 点・土偶 1 点・石器 37 点 柳坪遺跡 繩文土器 1 点 寺所遺跡 繩文土器 1 点・土師器 6 点 城下遺跡 灰釉陶器 1 点・綠釉陶器 1 点・土師器 1 点・石器 2 点 東原遺跡 雜13 点・土器 1 点・石器 1 点
4	4.1 ~ 3.31	山梨平和ミュージアム	常設展示のため	大師東丹保遺跡 クルマ 16 点・カマ 3 点・チ 1 枚・モモ種子 7 点 百々遺跡 土器はか 21 点 横樋遺跡 土器はか 119 点 大師東丹保遺跡 植物依存体一式 宮沢村中遺跡 植物依存体一式
5	4.1 ~ 3.31	北杜市教育委員会	北杜市考古資料館において常設展示のため	防災新館石垣展示室に展示のため 甲府城跡 陶木 6 点
6	4.1 ~ 3.31	山梨市フルーツパーク（株）	「甲州果物発展史」コーナーに常設展示するため	原町農業高校前遺跡 繩文土器 1 点・土器片など 9 箱 酒香場遺跡 石器 52 点 塙部遺跡 馬骨 12 点 大師東丹保遺跡 形代 2 点 地耕面遺跡 齋申 鰐沢河岸跡 生活用具等 194 点 甲府城跡 鰐瓦 1 点・瓦 3 点・輪宝 2 点・ワイン瓶 5 点
7	4.1 ~ 3.31	南アルプス市教育委員会	ふるさと文化伝承館に常設展示のため	大月市郷土資料館において常設展示のため 大月市郷土資料館前遺跡 玉偶 2 点・石鍬 6 点・繩文土器 2 点・石皿 1 点 大月遺跡 繩文土器 5 点
8	4.1 ~ 3.31	総務部管財課	防災新館石垣展示室に展示のため	山梨県の文化振興の推進及び文化を通じた教育支援のため 美術館第1展示室にて常設展示のため 宮の前遺跡 繩文土器 1 点 花島山遺跡 繩文土器 1 点
9	4.1 ~ 3.31	県立博物館	常設展示のため	企画展「浅野家のたどった城～浅野家の城と陣屋～」に展示するため 甲府城跡 鰐瓦 1 点・瓦 2 点 八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン資料館連携事業三館共同企画展「ワンドフルジャー～星降る八ヶ岳山麓の繩文世界」に展示のため
10	4.1 ~ 3.31	大月市教育委員会	大月市郷土資料館において常設展示のため	原町農業高校前遺跡 玉偶 2 点・石鍬 6 点・繩文土器 2 点・石皿 1 点 大月遺跡 繩文土器 5 点
11	4.1 ~ 3.31	国立大学法人山梨大学	山梨県の文化振興の推進及び文化を通じた教育支援のため	宮の前遺跡 繩文土器 1 点
12	4.1 ~ 3.31	国立歴史民俗博物館	総合展示第1展示室にて常設展示のため	花島山遺跡 繩文土器 1 点
13	7.1 ~ 9.13	公益財団法人広島市文化財団広島城	企画展「浅野家のたどった城～浅野家の城と陣屋～」に展示するため	甲府城跡 鰐瓦 1 点・瓦 2 点
14	7.2 ~ 12.27	北杜市教育委員会	八ヶ岳定住自立圏共生ビジョン資料館連携事業三館共同企画展「ワンドフルジャー～星降る八ヶ岳山麓の繩文世界」に展示のため	原町農業高校前遺跡 繩文土器 13 点

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
15	7.2 ~ 11.27	北杜市教育委員会	北杜市郷土資料館企画展「動物の神様」に展示するため	海道前 C 遺跡 身洗沢遺跡
16	7.27 ~ 7.27	積石塚・渡来人研究会	積石塚渡来人研究会第7回研究例会において展示・検討のため	南大浜遺跡 長峰砦跡
17	8.2 ~ 8.14	上野原市教育委員会	上野原市教育委員会主催「上野原の遺跡展」に展示のため	弥生土器 1 点 鉄砲玉 2 点・錢貨 4 点
18	8.20 ~ 2.29	九州国立博物館	九州国立博物館特集展示「縄文王国やまなし」に展示のため	酒香塚遺跡 甲ヶ原遺跡
			天皇陛下御即位記念 第34回国民文化祭 第19回全国障害者芸術・文化祭特別展「国民の文化財あ、コレ知ってる! (はいにわ、どう、かえんどきの昭和平成)」で展示のため	
19	9.14 ~ 11.4	新潟県立歴史博物館		甲ヶ原遺跡
20	10.12 ~ 12.8	千葉県立房総のむら	令和元年度企画展「龍角寺古墳群とその時代」に展示のため	馬具 25 点・絞具 1 点
21	10.22 ~ 2.15	北杜市教育委員会	北杜市考古資料館企画展「黒き星のかげらー黒曜石と八ヶ岳山麓の縄文世界ー」に展示のため	天神遺跡 花鳥山遺跡 上中丸遺跡
22	10.29 ~ 12.22	大野城心のふるさと館	大野城心のふるさと館特別展「縄文王国やまなし」に展示するため	大木川遺跡 甲ヶ原遺跡 柳坪遺跡 原町農業高校前遺跡
23	11.18 ~ 2.28	埼玉県立嵐山史跡の博物館	企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか?」に展示するため	甲府城下町遺跡
24	11.23 ~ 2.2	長野県立歴史館	開館 25 周年記念特別企画「土偶展」で展示のため	岡遺跡
25	12.23 ~ 3.12	富士市教育委員会	富士山かぐや姫ミュージアム第 57 回企画展「東海の軍を発す—伝法東平 1 号墳とヒミツの武器」に展示のため	大刀金具 6 点・鐵鏃 17 点・小札 8・馬具 23・冠飾 7 点・玉類 284 点・耳環 12 点・銅鏡 1 点・須恵器 16 点・土師器 2 点
				竜王 2 号墳
				須恵器 3 点・馬具 34 点・絞具 1 点・手握ね土器 3 点

収蔵画像資料の貸し出し・掲載許可一覧

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名
1	4.1	丸善出版株式会社	「学鎧」2019夏号に掲載するため	一の沢遺跡 一の沢遺跡
2	4.8	株式会社敬文舎	安斎正人著「縄紋時代史中」に掲載するため	調査写真 2 点 安道寺遺跡 中谷遺跡
3	4.25	株式会社 NHK エンタープライズ	番組「土偶ミステリー」のオンラインマント継続配信のため	考古博物館 当館所蔵土偶集合写真 1 点
4	4.26	清流出版株式会社	月刊誌「清流」8月号に掲載するため	甲斐跳子塚古墳 甲斐跳子塚古墳 大丸山古墳 鳥居原狐塚古墳 東山南遺跡 考古博物館
				青銅鏡複製 1 点・埴輪 1 点・腕輪複製 1 点・木製品 1 点 短甲覆製 1 点・石枕複製 1 点 青銅鏡複製 1 点 須恵器集合写真 1 点 考古博物館周辺空撮写真 2 点

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名	
5	4.26	株式会社阪急交通社	ホームページ日本道産特集「星降る中部高地の縄文世界」に掲載するため	般林遺跡	縄文土器 1 点
6	4.30	公益財団法人広島市文化財団	企画展図録「浅野家の城と陣屋」に掲載するため	甲府城跡	瓦 3 点
7	5.9	株式会社キャデック	技術評論社刊「ざかん・縄文土器」に掲載するため	上の平遺跡 酒呑場遺跡 安道寺遺跡 上コブケ遺跡 中谷遺跡 考古博物館	縄文土器 1 点 縄文土器 1 点 縄文土器 2 点 縄文土器 1 点 縄文土器片 1 点・レプリカ SEM 写真 1 点 当館所蔵有孔跨付土器集合写真 1 点
8	5.9	株式会社小学館	「和楽 WEB」に掲載するため	甲原遺跡	琥珀垂飾 1 点
9	5.14	伊勢半本店 紅ミュージアム	紅ミュージアム常設展においてパネル展示するため	岡遺跡	容器形土偶 2 点
10	5.17	埼玉県立嵐山史跡の博物館	令和元年度企画展「戦国大名は如何にして軍需を調達したか?」においてパネル展示するため	甲府城下町遺跡	調査写真 2 点
11	5.17	東久留米市教育委員会	ミニ企画展「~縄文人とイノシシ~」に掲載するため	安道寺遺跡	縄文土器 1 点
12	5.21	新津健	九州国立博物館寄修「縄文王国山梨」に掲載のため	安道寺遺跡 上の平遺跡 甲原遺跡	縄文土器 1 点 縄文土器 1 点 縄文土器 1 点
13	5.22	株式会社アルバ	「日本遺産 地域の歴史と伝統を学ぶ」に掲載のため	海道前 C 遺跡	縄文土器 1 点
14	6.1	公益財団法人広島市文化財団	企画展図録「浅野家の城と陣屋」に掲載するため	甲府城跡	縫刻写真 1 点・石切削写真 1 点・復元図 1 点、航空写真 1 点
15	6.7	株式会社朝日旅行	朝日旅行主催ツアーアドバイザリーブックに掲載のため	考古博物館 一の沢遺跡	博物館外観 1 点 縄文土器 1 点
16	6.9	株式会社碧水社	「アイゴスティーニジャパン」に掲載のため	甲府城跡	瓦 1 点・調査写真 2 点・植荷槽復元時写真 5 点
17	6.11	株式会社NHKエンターライズ	番組「歴史秘話ヒストリア 縄文1万年の美と祈り」のオンライン配信収録のため	考古博物館	当館所蔵土偶集合写真 1 点
18	6.21	株式会社 吉川弘文館	平川南著「新しい古代史へ2 文字文化のひろがり」に掲載のため	甲府城跡	甲府城全体図 1 点・縫刻画 1 点・輪宝 1 点
19	6.23	原正人	俳句公社「巨摩野俳誌『今』第 26 号」に掲載のため	百々遺跡	馬骨出土状況 1 点
20	6.27	北杜市教育委員会	八ヶ岳定期自立園共生ビジョン、資料館連携事業共同企画展「ワンドフルジャーニー～星降る八ヶ岳山麓の縄文世界」に掲載するため	酒呑場遺跡	縄文土器 1 点
21	7.1	山梨県埋蔵文化財センター	冊子「JOMON 山梨」に掲載のため	般林遺跡 甲原遺跡 安道寺遺跡 酒呑場遺跡 重郎原遺跡 原町農業高校前遺跡 一の沢遺跡 上コブケ遺跡 海道前 C 遺跡	縄文土器 1 点 縄文土器 4 点 縄文土器 1 点 縄文土器 1 点・土偶 1 点 縄文土器 1 点 縄文土器 1 点・土偶 1 点 縄文土器 1 点 縄文土器 1 点

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名	
22	7.3	群馬県立歴史博物館	第100回企画展「ハート形土偶 大集合!」(縄文のかたち、美、そして岡本太郎-)の図録及び展示パネルで利用するため	考古博物館	第1回特別展表紙写真1点、岡本太郎直筆原稿1点
23	7.4	公益財団法人広島市文化財団	広島市立図書館企画展「茂野家と鳥居」に展示のため	甲府城跡	瓦1点
24	7.4	金井拓人	金井ほか著「水晶の高地推定:山梨県内の例」(縄文遺跡における例)「文化財化学」第78号に掲載のため	上コブケ遺跡	水晶1点
25	7.10	静岡市立登呂博物館	夏季企画展「FIRE」に展示のため	獅子之前遺跡	水晶1点
26	7.10	山梨県埋蔵文化財センター	イベント「マチナカ博物館」におけるパネル展示のため	殿林遺跡 安道寺遺跡 重郎原遺跡 海道前C遺跡 甲ノ原遺跡	縄文土器1点 縄文土器2点 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点
27	7.30	玉置智佳子	甲府市民レポータープログラムに掲載のため	考古博物館	考古博物館内観5点
28	8.19	クラブツーリズム株式会社	クラブツーリズムアーカタログに掲載のため	酒呑場遺跡	縄文土器集合1点
29	9.2	株式会社 東北新社	お城情報サイト「城びと」に掲載のため	甲府城跡	瓦1点
30	9.26	株式会社トスプランニング	NHKBSプレミアム「尊人たちの健康診断」再放送のため	鍊沢河岸跡	魚骨1点・貝類1点・イルカ骨1点
31	9.17	毎日新聞出版	「サンダー毎日」に掲載のため	考古博物館	古墳群空撮写真1点
32	10.1	九州国立博物館	特集展示「縄文王国やまなし」図録掲載のため	安道寺遺跡	縄文土器1点
33	10.2	帝京大学総合博物館	企画展図録「古代多摩に生きたエミの謡を追え」に掲載のため	百々遺跡	調査写真3点
34	10.4	株式会社アルバ	「日本遺産 地域の歴史と伝統文化を学ぶ」に掲載のため	安道寺遺跡 一の沢遺跡 殿林遺跡	縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点
35	10.10	株式会社 吉川弘文館	平川南著「新しい古代史へ 3 交通・情報のなりわい」に掲載のため	百々遺跡	調査写真1点
36	10.10	北杜市教育委員会	企画展「黒き星のかけら 黒曜石と八ヶ岳山麓の縄文」に掲載のため	天神遺跡 酒呑場遺跡	調査写真1点 調査写真1点
37	10.19	小林聰	「オ番長を読む」上巻のため	甲府城櫓荷物展示室	展示室内写真
38	10.24	一般社団法人京やすずめ文化観光研究所	第2回おどさんミット「おどさんくま博士」の日本歴史」に掲載のため	三ノ側遺跡 玉川金山遺跡	調査写真1点 調査写真1点
39	10.24	株式会社 敬文舎	設楽博己著「弥生時代」に掲載のため	岡遺跡	容器形土偶2点
40	10.25	株式会社 中央公論新社	竹下大著「日本の品種はすごい」に掲載のため	酒呑場遺跡	縄文土器1点
41	11.5	株式会社アム・プロモーション	「縄文カレンダー2020」に掲載のため	上野原遺跡	縄文土器1点
42	11.6	公益財団法人 日本陶磁協会	「陶説」12月号に掲載のため	安道寺遺跡 天神遺跡 中谷遺跡	縄文土器1点 縄文土器1点 土偶複製1点
43	11.10	石神孝子	山梨郷土研究会創立80周年記念シンポジウム「山梨の水晶宝飾史」資料集に掲載のため	天神遺跡 亀甲塚古墳 甲斐銚子塚古墳 四ツ塚古墳群	玉類写真2点 管玉1点 玉類1点 玉類1点
44	11.12	山梨県埋蔵文化財センター	理文やまなし 61号に掲載のため	殿林遺跡 安道寺遺跡	縄文土器1点 縄文土器1点

番号	申請日	申請者	利用目的	申請物件名
45	11.13	県民生活部生涯学習文化課	「山梨県文化芸術推進基金計画」に掲載のため 長野放送「ヨーカス信州」にて放映のため	殿林遺跡 考古博物館 酒呑場遺跡
46	11.20	株式会社ビデオ企画		縄文土器1点 外観1点
47	11.26	中央市	中央市生涯学習文化課のため	小井川遺跡 調査写真2点
48	11.26	株式会社NHK出版	NHK出版新書「日本美術の歴史」一編文VS. 弥生で読み解く!に掲載のため	殿林遺跡 安道寺遺跡 縄文土器1点
49	12.5	植月学	植月学「時代を越えて運ばれた海の幸」「月刊土木技術」2020年2月号に掲載のため	奥沢河岸跡 魚骨1点
50	12.9	十日町市博物館	常設展パネルに掲載のため	一の沢遺跡 縄文土器1点
51	12.11	株式会社日本アートセンター	小和田泰経著「アマテ割り日本史」第5巻「戦争の日本史」に掲載のため	考古博物館 館蔵イラスト1点
52	12.18	糸迦堂遺跡博物館	常設展パネルに掲載のため	大木戸遺跡 土偶3点 獅子之前遺跡 土偶2点 一の沢遺跡 土偶1点
53	1.10	大西雅広	「西宮遺跡出土火打石をめぐって」「江戸遺跡研究」第7号に掲載のため	米倉山B遺跡 火打石5点
54	1.22	山梨県埋蔵文化財センター	ウォーキングマップ「でっこやまなし古墳・お宝マップ2 甲府盆地北東部編」掲載のため	殿林遺跡 重郎原遺跡 安道寺遺跡 上コケ遺跡 寺の前3号墳 環頭大刀柄頭複製1点 久保田・道ヶ芽木遺跡 海老鍬1点 大木戸遺跡 勝沼坂塚 牛遺跡 調査写真1点 調査写真1点
55	1.23	株式会社スリーシーズン	ボラ社刊「毎日かんさつぐんぐるそだつはじめてのやさしいづくり エダマメをそだてよう」に掲載のため	酒呑場遺跡 縄文土器1点
56	2.5	株式会社ジョイティック	翡翠に関するYouTube動画に掲載のため	天神遺跡 翡翠大珠1点 大月遺跡 翡翠大珠2点 酒呑場遺跡 翡翠原石1点 塩部遺跡 翡翠勾玉1点 甲斐原遺跡 縄文土器1点
57	2.28	塙本レイ子	パンフレット掲載のため	上の平遺跡 立石遺跡 東山南遺跡 上野原遺跡 米倉山遺跡 考古博物館 調査写真5点・整備状況1点 石器1点・調査写真1点 航空写真1点 航空写真1点 航空写真1点 内観5点
58	3.4	水出みよ子	歴史同好会「古代史日和」のYouTubeチャンネルに掲載のため	酒呑場遺跡 天神遺跡 殿林遺跡 重郎原遺跡 安道寺遺跡 海道前C遺跡 一の沢遺跡 石器1点・調査写真1点 航空写真1点 航空写真1点 内観5点
59	3.12	株式会社ネオスペース	ホテル内蔵グループ「城のホテル」内における歴史紹介映像において放映のため	甲府城跡 瓦1点・調査写真1点
60	3.25	小川忠博	公益財団法人池田20世纪美術館「小川忠博写真展「縄文」祈りの造形」における展示・図録に掲載するため	酒呑場遺跡 天神遺跡 殿林遺跡 重郎原遺跡 安道寺遺跡 海道前C遺跡 一の沢遺跡 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点 縄文土器1点
61	3.25	株式会社ネオスペース	ホテル内蔵グループ「城のホテル」内における展示並びにパンフレット等広報物に掲載するため	甲府城跡 瓦1点・調査写真1点



古代衣装貸し出し一覧

番号	貸出期間	申請者	利用目的	申請物件名
1	4.4 ~ 4.19	富士河口湖町立船津小学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 2着 女官服 2着 官吏服 2着
2	5.20 ~ 6.19	北杜市立長坂小学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 1着 胡服 1着 巫女服 1着 女官服 1着 官吏服 1着
3	6.4 ~ 6.14	早川町立早川南小学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 1着 胡服 1着 巫女服 1着 女官服 1着 官吏服 1着
4	6.4 ~ 6.18	山梨県立富士見支援学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 2着 胡服 2着 巫女服 2着 女官服 2着 官吏服 2着
5	6.16 ~ 7.9	山梨県立あけぼの支援学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 1着 巫女服 1着 女官服 1着
6	6.19 ~ 7.11	山梨県立甲府城西高等学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 1着 胡服 1着 巫女服 1着 女官服 1着 官吏服 1着
7	8.2 ~ 8.14	上野原市教育委員会	「上野原市の遺跡展」において試着体験のため	女官服 1着 官吏服 1着
8	9.18 ~ 10.5	身延町立見延中学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 1着 胡服 1着
9	9.26 ~ 10.1	日本放送協会	NHKヒストリアドラマロケで使用のため	貫頭衣 1着 胡服 1着 巫女服 2着
10	10.1 ~ 10.6	茅ヶ崎市小出地区コミュニティーセンター	下寺尾古代遺跡まつりで使用するため	貫頭衣 3着 胡服 1着 巫女服 3着 女官服 1着 官吏服 1着
11	11.2 ~ 12.1	北杜市立長坂小学校	学習教材として使用のため	貫頭衣 3着 胡服 3着

名義後援

番号	申請日	申請者	利用目的
1	1.4	積石塚・渡来人研究会	積石塚・渡来人研究会 第5回総会・記念講演会



第Ⅱ章 調査研究業務

発掘調査等

1 記録保存のための発掘調査

番号	調査名他
1・1	新町前遺跡
1・2	馬場平遺跡
1・3	北畠南遺跡

2 整備事業に伴う調査

番号	調査名他
2・1	史跡甲府城跡石垣維持管理事業

3 県内分布調査

番号	事業名他	調査内容
3・1	中央新幹線(品川・名古屋間)建設工事事業に伴う試掘調査	試掘
3・2	中央新幹線成田保守基地建設工事に伴う試掘調査(二又第1遺跡・二又第2遺跡)	試掘
3・3	中央新幹線高作業キヤード建設工事に伴う試掘調査(北畠地外)	試掘
3・4	新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設工事に伴う試掘調査(北畠南遺跡・北畠地外)	試掘
3・5	一般国道411号御星駅北側幅員拡張事業に伴う試掘調査(馬場平遺跡)	試掘
3・6	公園施設(四ツ目垣)設置事業に伴う試掘・立会調査(史跡甲府城跡)	試掘・立会
3・7	大月警察署上谷交番建設工事に伴う試掘調査(三ノ瀬遺跡)	試掘
3・8	高速自動車国道中部横断自動車道新設工事に伴う試掘調査	試掘
3・9	市川郷便局新築工事事業に伴う試掘調査	試掘
3・10	県立北杜農耕理解洗場建設事業に伴う立会調査(原町農業高校前遺跡)	立会
3・11	舞鶴公園武能殿改修工事に伴う立会調査(史跡甲府城跡)	立会
3・12	中央新幹線への電力供給を目的とした送電線建設事業に伴う踏査	踏査
3・13	国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業に伴う踏査(殿林遺跡・安道寺遺跡)	踏査

整理作業

1 基礎的整理作業

番号	遺跡名
1	新町前遺跡
2	馬場平遺跡

2 本格的整理作業

番号	遺跡名
1	新町前遺跡
2	甲府城跡
3	国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業(殿林遺跡・安道寺遺跡)

3 報告書刊行一覧

番号	報告書名
第326集	甲府城跡(甲府城周辺地域活性化実施計画に伴う山梨県民会館跡地周辺埋蔵文化財確認調査)
第327集	山梨県内分布調査報告書(平成31年1月～4月・令和元年5月～12月)



発掘調査等

1 記録保存のための発掘調査

1-1 新町前遺跡

所在地 I区: 西八代郡市川三郷町市川大門字八乙女1689-2
II区: 西八代郡市川三郷町市川大門字八乙女1733-1
III区: 西八代郡市川三郷町市川大門字八乙女1733-2

担当者 島南地域単位制・総合制高校建設事業

調査期間 2019年7月16日～2020年2月4日

調査面積 約847m²

担当者 宮里学・数野優



遺跡位置図

新町前遺跡は、島南地域単位制・総合制高校建設事業に伴い行われた試掘調査にて発見され、平成29年度に試掘確認調査を、平成30年度に新校舎建設対象地において発掘調査を実施した。

本年度は、同事業により市川高校敷地内および隣接する市川三郷町所有地（職員駐車場、保育所）に受水槽設備や弓道場建設など予定されており、埋蔵文化財の有無を確認するための試掘調査を令和元年5月末に行った結果、遺跡の存在が確認された。そこで、旧市川三郷町役場職員駐車場をI区、旧市川保育所をII区、旧市川高校グランド内の受水槽建設予定地をIII区とし、I・II区を7月16日～9月13日、III区を10月15日～2月4日の期間にて発掘調査を行うこととした。

新町前遺跡は、甲府盆地南縁から流れる芦川が形成する扇状地の先端部に位置している。標高は247.0m～245.2mにあり、甲府盆地でも屈指の低地に所在する遺跡である。

調査区周辺の歴史環境では、1130年頃に甲斐源氏の祖である源義清が甲斐国に配流されて、初めて館を構えたとされる平塙館や、古代寺院平塙寺、延喜式内社である弓削神社などがあり、古代の政治的活動が活発な地域である。一方で、調査区周辺には周知の埋蔵文化財包蔵地は皆無であり、遺跡の空白地帯といべき場所である。したがって、当地域における発掘調査は初めての事例である。

基本的な土層の堆積は、地表面下約0.5mまで近現代の造成土で、その下層は地表面下約1.5mまで河川堆積に由来する砂礫層が厚く堆積している。砂礫層の直下で室町時代の水田・畠跡を検出し、同層で遺構確認を実施した（第1面）。水田・畠耕作土は約0.3mの厚さで堆積しており、中世の遺物を包含する。水田耕作土の下には、平安時代の遺物包含層が約0.5m残存していた。遺構は包含層上面から掘り込まれたものも存在したが、遺構の判別が困難であったため、遺物包含層下の褐色砂質土層（地山）もしくは疊層まで掘削して精査することとした（第2面）。

I区では、第1面にて畠の歴が調査区の大半から検出され、中世の土師器・須恵器などの遺物が出土した。また、少数ではあるが中国産磁器（青磁）も出土した。歴の上層は砂礫層で覆われておらず、水害により畠が廃絶したことなどがわかる。また、第2面では平安時代の堅穴建物跡4軒をはじめ、土坑5基、ピット15基が検出され、住居跡を含む計7箇所から焼土が検出された。このことから、昨年度の新町前遺跡発掘調査で明らかとなった平安期集落跡の範囲がI区まで広がっていることがわかった。

II区では、調査区が大変狭かったものの（1.4m×1.4m）、土坑が2基検出され、中国産磁器（青磁）を含む遺物数点が出土した。この調査地点では、令和元年5月末に実施された試掘でも土師器を中心とする遺物が出土しており、水田面・遺物包含層などI区と同様の層が壁面の土層から確認されている。そのため、ある程度の調査区が確保できた場合、他の区と同様の遺構を検出できる可能性は高い。

III区では、第1面にて中世の水田・畠跡が検出された。水田は東西の溝状遺構で区切られており、その北側では水田が広がり、南側では水田と畠が共存していた。遺物も土師器以外に須恵器、国内産陶器（灰釉）や中国産磁器（青磁）が出土した。また、第2面ではII区と同様に平安期集落跡が確認された。遺構は堅穴建物跡7軒・土坑43基・溝状遺構4条と焼土4基が検出され、1号住居跡からは焼土・炭化物を含むカド跡も検出された。また、調査区西側には南北に幅約4m、深さ2m以上ある大溝が通っており、堀のような区画と防衛機能を持つ遺構の可能性がある。



調査区I区全景（北を臨む）



調査区I区第1面　歟跡検出状況



II区第3面土坑完成状況



調査区III区第2面　土器の出土状況



調査区III区第2面　カマド検出状況



発掘作業風景



1-2 馬場平遺跡

所在地 甲州市塙山上萩原地内

事業名 一般国道411号御屋敷拡幅事業

調査期間 2019年8月21日～2019年11月29日

調査面積 約362m²

担当者 岩永祐貴・小池準一

本事業は、甲州市塙山上萩原地内を通る一般国道411号の拡幅事業である。拡幅地点に馬場平遺跡の埋蔵文化財包蔵地が含まれていたことから、埋蔵文化財センターが令和元年5月に試掘調査を実施したところ、縄文時代中期の遺構・遺物を確認した。道路拡幅と付け替え道路工事により、遺跡が破壊されるため、記録保存による保護措置を実施することとなった。

周辺環境 馬場平遺跡は、多摩川水系柳沢川左岸の河岸段丘上の平坦面、標高約1256mに立地している。また青梅街道とも重複する地点であり、山梨と東京を結ぶ重要な地域である。

歴史的環境については、当遺跡のはかに刑部平遺跡と板橋遺跡の2遺跡が周辺に位置する。これら3遺跡は、吉田格をはじめとした「武藏野文化考古学学会」による刑部平遺跡のトレーニング調査及び周辺遺跡の踏査が実施されており、その成果から馬場平遺跡は旧石器時代の遺跡として知られている。この調査以降での本格的な調査は、甲州市が試掘を実施したのみであり、当調査は重要な事例と言える。

土層堆積状況 基本的な土層の堆積は、地表下約0.3mまでは近現代の表土で、その下層は地表下約0.5mまで擾乱であった。こうした擾乱は、調査地に東京都羽村市の保養所が建設されていた時期がありそれによるものと考えられる。擾乱の直下から地表下0.8mまで遺物包含層であり、色調の違いから上層と下層に分層した。包含層上層は地表下0.6mまでの黒色砂質土である。包含層下層はにい黄褐色砂質土で、遺物は下層の方が多い。一部の区域では包含層下層が認められない地点もある。地表下0.8～1.0mは水晶による擾乱を受けた漸移層である。また、擾乱によって遺物が漸移層でも認められる。地表下1.0m以下は黄褐色砂質土の地山で、花崗岩の粗粒砂と金雲母が多く含む。漸移層での遺構の精査、検出は困難を極めたため、地山での遺構の検出を行った。

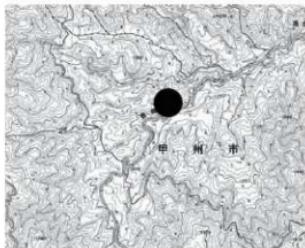
発見した遺構及び遺物 発掘調査によって土坑・ピット48基と水晶集中区、屋外土器埋設遺構1基が発見され、出土遺物はコシテナ14箱分となった。

水晶集中区とは、遺構ではなく包含層内から水晶片が多量に出土した地点のこと示す。長さ約3m、幅約1.5mの間で小さな破片も含めて557点が出土した。なお、製品は楔形石器とサイドスクレーパーがあり、使用痕がある剝片も認められた。

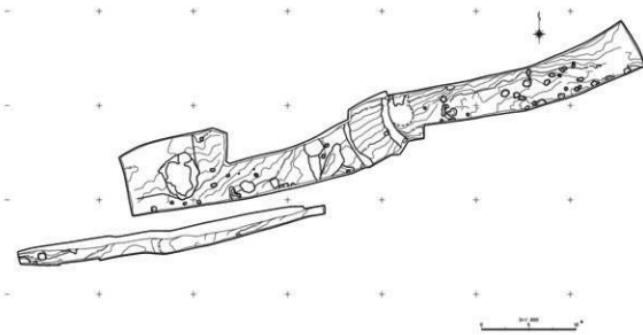
このほか黒曜石は全体で28点出土した。このうち製品は石礫が4点のみであった。圧倒的に水晶の剥片が多く、このような事例は山梨県内では珍しい。土器は縄文時代中期中葉の落沢式（約5400年前）と新道式（約5300年前）を包含層内から多く発見した。その他、安山岩製の打製石斧等が包含層から出土した。

土坑・ピットは、ほとんどが遺物を伴わないが、新道式土器・水晶の剥片を埋土に含むものが少量存在する。このうちSP2003としたピットの底面は焼土が溜まっており炉であった可能性がある。屋外の埋設土器は、新道式で底部は全周し、正位で埋められている。検出面から上部が欠損しており、後世に破壊されている可能性が高い。

発掘調査の結果、縄文時代中期を主体に人の生活痕跡を確認した。この地域の調査は少なく、水晶や黒曜石等の石器石材・土器の流通を考えるうえで貴重な事例と言える。



遺跡位置図



調査の様子



埋設土器発掘状況



遺物出土状況



水晶出土状況



1-3 北畠南遺跡

所在地 笛吹市石和町東油川394-2外
 事業名 新山梨環状道路東部区間II期建設工事
 調査期間 2019年10月21日～2020年3月31日
 調査面積 約450m²
 担当者 御山亮済・熊谷晋祐・小池準一・高左右裕

本事業は、新山梨環状道路東部区間II期建設工事に伴う北畠南遺跡の記録保存を目的とした発掘調査である。当遺跡は、令和元年5月に実施した試掘調査の結果、新たに発見された。本格的調査に先行して、保護措置を行う範囲を確定するための予備調査を、令和元年10月21日から10月28日まで実施した。その結果、上端面積約2200m²、下端面積約450m²を調査範囲とすることになった。

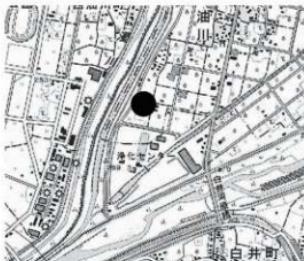
当遺跡は、濁川及び平等川(旧笛吹川)と、現笛吹川が合流する地点にあり、標高は254m程度である。調査地点の周辺にはほとんど分布していない。なお、濁川上流では甲府市がチカラ遺跡を調査しており、古代以前の文化面が砂層に覆われている状況が確認されている。

基本土層は、厚い細砂層やシルト層が互層になっており、いわゆる砂疊層のような、直接的な氾濫堆積は認めることができない。地表下4.0mに中世の遺構確認面(第1面)、その1.0m下層に古墳時代と平安時代の遺構確認面(第2面)が確認された。発掘調査中は、水中ポンプ等による排水作業を24時間体制で実施するなど、安全管理等の面で非常に困難な調査となった。

第1面の成果 中世の遺物包含層からは、15世紀から16世紀段階と想定される遺物の破片が出土した。また、遺構確認面では、溝状遺構14条、土坑2基を検出した。4号溝状遺構からは、青磁碗の破片が1点出土した。溝状遺構のうち、1号溝状遺構は調査区内においてクランクする箇所が2カ所あり、他の溝状遺構と組み合わせて、道跡となる可能性も考えられる。

第2面の成果 古墳時代前期～中期の堅穴住居跡8軒と溝状遺構2条、平安時代の堅穴住居跡1軒と土坑1基、溝状遺構1条を確認した。古墳時代の堅穴住居跡は、重複して検出された。4号住居跡・6号住居跡では、住居の覆土上層にあたる位置で、古墳時代中期前半の遺物集中が認められた。特に6号住居跡では、完形の土器類を数十個体配置している状況が認められた。これらの土器には、祭祀用とみられるものが多く認められる。また、5号住居跡では、下層に古墳時代前期の遺物、上層より古墳時代中期の遺物が出土している様子を確認することができた。前期の住居跡の廃絶後に、凹地を利用して中期の人々が生活をしていた可能性も考えられる。7号住居跡は、1辺が9mとなる大型の堅穴住居跡である。平安時代では、カマド跡と考えられる焼土集中が確認された。調査区南西端という制約もあり、住居跡の掘りこみは確認できていないが、堅穴住居跡に伴う想定される。また、土坑1基と、溝状遺構1条は、それぞれ接続していることや土坑の形が隅丸方形であることから、井戸跡の可能性も考えられる。平安時代の出土遺物は、いずれも9世紀頃のものである。

調査所見 甲府盆地内の低地における古墳時代の集落としては、岐阜・越後地域においては初めてと言ってよい事例となった。とくに、古墳時代中期前半の住居跡や遺物の集中は、山梨県内でも類例が少なく、甲府盆地の低地利用などを含めた人々の活動痕跡を知るに貴重な事例である。また、遺構については、後世にはほとんど搅拌されることなく、保存状況は極めて良好であった。一方で、埋没土の性質は、基本土層の堆積と大きく変わらず、遺構の壁面・平面確認は、非常に困難を極めた。次年度、整理作業を通じて、遺構・遺物を再度評価していく必要がある。



遺跡位置図



北畠南遺跡全景 北を臨む



第1面 溝状造構（中世）



第2面 焼土の集中と遺物の検出状況（平安時代）



第2面 6号住居跡遺物集中（古墳時代）



第2面 4号住居跡遺物集中（古墳時代）

2 整備事業に伴う調査

2-1 史跡甲府城跡石垣維持管理事業

所在地 山梨県甲府市丸の内一丁目地内

事業名 史跡甲府城跡石垣維持管理事業

調査期間 2019年8月2日～2020年3月13日

調査面積 約20,000m²

担当者 依田幸浩・柴田亮平

史跡甲府城跡（都市公園舞鶴城公園）は、織豊期末期の文禄・慶長年間（1590年代）に築城された城郭である。明治以降の鉄道敷設や市街地開発などによって、城郭の規模は縮小されたが、現在でも甲府城跡の歴史的・文化財的に最も評価される特徴と位置づけられている築城当時の野面積み石垣が、城内の全城に良好に残っており、1968年には県指定史跡、2019年には国指定史跡となっている。

また、1985年ごろから舞鶴城公園整備計画が数ヶ年にわたって検討され、1990年から県土整備部と県教育委員会で、防災、復元、修景を目的とした石垣改修工事を中心に、歴史的建造物の復元、便益施設、園路、広場設備、城内建物の撤去などの整備事業を実施し、2004年度に完了した。

2005年度から2014年度にかけては、未改修石垣を対象として、公園利用者の安全確保や文化財保護の観点から、石垣の補修工事を実施してきた。石垣の補修工事は、現地調査によって石垣の傷み状況を記録し、補修方法を検討の上、詰石の締固め、交換、新規石材の補充を中心とした工事により、石垣の強度を維持させるものである。これは、改修工事と異なり、石垣を解体することなく安定化させる手法であり、オリジナルの石垣を可能な限り旧状のまま後世に残す方法の一つとして期待できるものである。

2015年度からは、引き続き公園利用者の安全を確保するとともに、約400年前の貴重な文化財である甲府城跡の石垣を保護・活用し、あわせて、文化財石垣の保護と補修に欠かすことのできない技術者の伝統的な石工技術の継承・育成を目的とした維持管理事業へと移行することになった。

今年度は、8月に史跡甲府城跡石垣維持管理検討委員会を開催し、委員の助言を受けたのち、石垣の変位状況の観測等を行う「一次点検」と、より詳細な調査を行う「二次点検」を、文化財専門職、石積み技能者、受託業者の3者で協議しながら以下のように進めた。

一次点検は、目視点検として、全石垣366箇所を1回、主要石垣233箇所については別途2回実施した。また、ゲージ計測は150箇所を1回、新設ゲージ及び変動のあるゲージ26箇所を別途3回実施した。

二次点検は、数寄屋曲輪の石垣（S-1～3）と鍛冶曲輪の石垣（K-28）を対象に、石積み技能者による詳細目視点検と読み等がみられる詰石の叩き締めなどの簡易補修作業を11月に実施した。



位置図





検討委員会



現地検討会



一次点検(計測・記録作業)



一次点検(ゲージ計測作業)



一次点検(高所作業車によるゲージ計測作業)



二次点検(現地協議)



二次点検(石積み技能者による詳細点検)



二次点検(詰石の叩き締め作業)

3 県内分布調査

3-1 中央新幹線（品川・名古屋間）建設工事事業に伴う試掘調査

所在地 茅吹市、甲府市、中央市、南アルプス市、富士川町
調査期間 2019年5月13日～2020年2月27日
調査面積 1,072.39m²（調査対象面積30,328m²）
担当者 深澤一史・御山亮済・熊谷晋祐・岩永祐貴・高左右裕

中央新幹線（品川・名古屋間）は、東京都市圏駅付近を起点に、本県甲府市、赤石山脈南部（南アルプス）を経て愛知県名古屋市まで延長約286kmを超電導磁気浮上方式で走行する計画である。路線延長約286kmのうち、地上部は約40km、トンネルは約246kmであり、特に本県は27.1kmと地上部全体の約67%を占め、沿線都県自治体の中でも埋蔵文化財について特段の注意が必要な区間と言える。

このような背景から、事業主体である東海旅客鉄道株式会社（以下、「JR 東海」という）と協議を進め、平成30年度から本格的に本線部分の試掘調査を開始している。

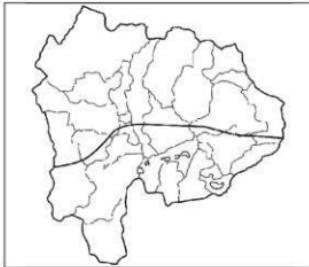
相当な範囲で埋蔵文化財に影響が及ぶ恐れがあることから、円滑な調査と埋蔵文化財保護行政を確実に推進していくために、毎月一回以上の定例会議をJR 東海、県リニア交通局リニア用地事務所、県教育庁学術文化財課、埋蔵文化財センターの四者で実施している。協議では、用地取得の状況、調査の進捗などを相互に確認している。

また、遺跡の調査は原則用地取得後にすることを望ましいが、広域に地下情報を把握することは急務であるため、土地所有者の同意書をもって実施することもやむを得ないとした。平成31年度からは、まとまってJR 東海が土地を取得した地点を原則として、包蔵地が周囲に無い地点については引き続き単独地点であっても調査を続けた。

平成31年4月、令和元年5月～令和2年3月に本県で試掘調査を実施した地点は、茅吹市1地点、甲府市2地点、中央市5地点、南アルプス市5地点、南巨摩郡富士川町6地点となる。合計の調査対象面積は約30,328m²、調査面積は1,072.39m²に及ぶ。

試掘調査は、バックホーにより試掘トレーナーを掘削し、壁面・床面を人力で精査し遺跡の有無を判断した。茅吹市および甲府市では、掘削深度の浅い位置に埋蔵文化財が認められる場合があり、人力でトレーナーを掘削することもあった。湧水の発生する盆地中央部では、水中ポンプなどを使用して排水環境を整えながら掘削を行った。

甲府盆地の地質的特質上、甲府市西部以西は釜無川の氾濫原や複雑に入り組んだ扇状地であり、河川運搬による砂礫層が分厚く堆積している事が多く、また出水も多いことから、調査作業は困難を極めている。こうした出水地点の調査方法の検討が重要な課題となっており、本調査に向けた判断や試掘調査の安全かつ適切な方法を検討しながら、全地上部で遗漏なく迅速に調査を進めていく計画である。

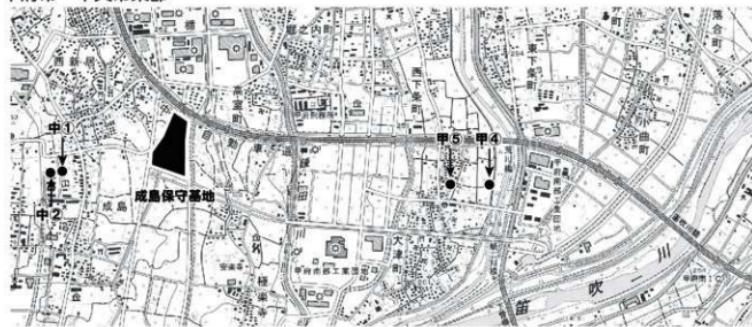


中央新幹線架線経路図

笛吹市・甲府市中道地区



甲府市・中央市東部



中央市



南アルプス市



南アルプス市甲西地区・富士川町



富士川町高下地区



表1 中央新幹線試掘調査一覧

No.	調査地点	調査日	調査概要										調査情報		
			包蔵地区分	調査対象面積(m ²)	試掘開発面積(m ²)	調査率(%)	地形	最大深度(m)	造礁の有無	遺物の有無	遺物確認深度(m)	時代	出土深度	備考	
1	栃木市 境川町小山	2月12日～14日	西面古墳	872	365	42%	丘陵	0.7	有	無	GL-0.15 m	不明	無		
2	栃木市 境川町石橋	2月7日～8日	足沙門遺跡	750	25	3.3%	丘陵	2.5	有	有	GL-0.7 m	古墳～平安	無		
3	栃木市 境川町小山	3月18日	包蔵地外	515	16.5	3.2%	台地 丘陵	1.3	無	有	—	古墳～平安	無		
4	栃木市 境川町石橋	2月18日～19日	足沙門遺跡	1285	15	1.2%	丘陵地	1.3	有	有	GL-0.8 m	古墳 平安	無		
5	栃木市 境川町石橋	3月19日～20日	足沙門遺跡	1183	15	1.3%	丘陵地	1.3	有	有	GL-0.3 m	古墳 平安	無		
6	栃木市 境川町石橋	2月4日	石橋浜田駅跡	110	7.5	6.8%	丘陵地	1.1	無	有	—	古墳～中世	無		
7	栃木市 境川町春野	3月1日	包蔵地外	1046	48	4.6%	河原 丘陵地 谷底平野	2.5	無	有	—	—	有 GL-2.5 m		
8	栃木市 境川町春野	2月5日	包蔵地外	165	12.5	7.6%	丘陵	1.3	無	無	—	—	無		
9	宇都宮市 白石町	2月25日～27日	包蔵地外	1277	40	3.1%	丘陵 台地	1.9	無	有	—	古墳 GL-1.0 m	有		
10	宇都宮市	3月14日	包蔵地外	184	16	8.7%	平地	3.5	有	有	GL-1.4 m	—	有 GL-3.3 m		
11	宇都宮市 西二条	2月25日	包蔵地外	200	35	17.5%	平地	2.3	有	有	GL-0.6 m	不明	GL-1.9 m		
12	宇都宮市 西二条	3月14日	包蔵地外	182	17.4	9.6%	平地	1.0	無	無	—	—	有 GL-0.5 m		
13	宇都宮市 上三塚	2月22日 3月13日	包蔵地外	849	50	5.9%	丘陵地 台地	2.5	無	有	—	—	有 GL-1.1 m		
14	宇都宮市 上三塚	2月4日	包蔵地外	320	30	9.4%	平地 丘陵	3.5	無	有	—	—	有 GL-1.2 m		
15	中央市 島崎	3月10日	包蔵地外	208	12	5.8%	平地	2.7	無	無	—	—	有 GL-2.5 m		
16	中央市 島崎	2月15日	包蔵地外	550	24.2	4.4%	丘陵	2.2	無	有	—	中世 古墳	有 GL-2.0 m		
17	中央市 島崎	2月12日	小舟川遺跡	853	621	7.3%	丘陵	3.8	有	有	GL-1.2 m	中央 古墳	有 GL-3.2 m		
18	中央市 島崎	3月6日	小舟川遺跡	1068	25	2.4%	丘陵	3.0	有	無	GL-1.6 m	不明	有 GL-3.0 m		
19	中央市	2月13日	小舟川遺跡	200	37.6	18.8%	丘陵	3.3	無	有	—	中央 古墳	有 GL-2.5 m		
20	街アルプ大島 大島	2月19日～20日	包蔵地外	410	34	5.9%	平地	2.0	有	有	GL-0.3 m	奈良～ 古墳	有 GL-1.5 m		
21	富士川町 小林	3月1日	包蔵地外	145	17.7	12.2%	河原 丘陵	3.0	無	無	—	—	有 GL-2.5 m		
22	富士川町 中野	2月27日	包蔵地外	114	20	17.5%	丘陵	2.6	無	有	—	—	無		
23	富士川町 最上寺	2月27日	包蔵地外	1011	28.2	2.8%	丘陵	4.5	有	無	GL-1.4 m	不明	無		
24	富士川町 最上寺	3月12日	包蔵地外	660	36	5.5%	河原 丘陵地 台地	3.8	無	無	—	—	無		
25	富士川町 最上寺	2月26日	西入道跡	150	11.3	7.5%	丘陵地	2.2	無	無	—	—	無		
26	中央市 布施	5月13日 5月16日～17日	4309	45	10%	丘陵	3.0	無	無	—	—	有 GL-0.5 m			
27	中央市 布施	5月22日	包蔵地外	1134	8	0.7%	丘陵	1.3	無	無	—	—	有 GL-0.6 m		
28	街アルプ大島 大島	3月27日～29日	包蔵地外	1544	89	5.8%	丘陵地	3.0	無	無	—	—	有 GL-1.0 m		
29	富士川町 高尾	6月3日～4日	包蔵地外	2129	35	1.6%	丘陵	1.8	無	有	—	—	無		
30	宇都宮市 日吉町	6月3日～4日	包蔵地外	619	16	2.6%	丘陵地	0.9	有	有	GL-0.7 m	平安 GL-0.6 m	有 GL-0.6 m		
31	中央市 上三塚	5月22日 6月13日	包蔵地外	1134	17	1.5%	河原 丘陵	2.4	無	有	—	—	有 GL-0.7 m		
32	宇都宮市	6月11日～13日 6月17日	包蔵地外	1266	65	5.1%	造成 台地	3.0	無	無	—	—	無		
33	街アルプ大島 西沢沢	6月11日～14日	包蔵地外	4840	270	5.6%	丘陵地 台地	5.6	無	無	—	—	有 GL-2.5 m		
34	街アルプ大島 藤原	6月19日～20日	包蔵地外	2200	125	5.7%	丘陵	2.5	無	無	—	—	有 GL-0.8 m		
35	栃木市 境川町	6月20日～21日	足沙門遺跡	592	39	6.6%	丘陵地	3.6	有	有	GL-1.1 m	古墳 平安	無		
36	富士川町 足利市中野	6月25日	包蔵地外	477	26.64	5.6%	河原 丘陵	4.4	無	無	—	—	無		
37	中央市 成烏	7月18日	包蔵地外	481	135	2.8%	河原 丘陵	2.4	無	無	—	—	有 GL-1.0 m		
38	街アルプ大島 武藏	7月22日	包蔵地外	590	20	3.4%	丘陵地	3.3	無	有	—	—	有 GL-0.8 m		
39	中央市 布施	7月29日	包蔵地外	488	16	3.3%	丘陵	2.5	有	無	GL-1.6 m	中世 GL-1.8 m	國文	無	
40	富士川町 最上寺	8月27日	包蔵地外	388	135	3.9%	丘陵 台地	2.4	有	有	GL-0.5 m	國文	無		
41	富士川町 小林	10月28日 30日～31日	包蔵地外 (販賣見)	3700	164.1	4.4%	河原	3.0	有	有	—	—	無		
42	中央市 成烏	12月14日～ 28日	上岸跡	1700	83	4.8%	河原 丘陵	3.2	有	無	GL-1.2 m GL-2.3 m	—	有 GL-3.1 m		



3-2 中央新幹線成島保守基地建設工事に伴う 試掘調査《二又第1遺跡・二又第2遺跡》

所 在 地 中央市成島地内

調査期間 2019年8月20日～22日、11月25日～29日、

2020年2月17日～3月3日

調査面積 1136.5m²（対象面積約31,230m²）

担 当 者 深澤一史・御山亮済・熊谷晋祐・高左右裕

本事業は、リニア中央新幹線成島保守基地建設工事に伴うものである。本地点の地形は、河川氾濫が形成する自然堤防と旧河道や低平地により構成されている。調査地点には、周知の埋蔵文化財宝蔵地である二又第1遺跡、二又第2遺跡が位置している。

建設予定地の南側では、表土直下に中世の遺物を含む層が確認され、この層中に2条の畦畔を検出したことから、水田遺構の広がりが想定される。また、調査区中央付近では、中世の水田遺構の下層より平安時代後半の遺物を含む暗灰黄色のシルト層が確認され、複数の遺構面が存在すると考えられる。

建設予定地の北側では、同じく表土直下に中世の遺物を含む層にびい灰黄褐色シルト層が堆積する。シルト層以下は、灰白色粗粒砂が堆積している。遺構はシルト層上面で検出する面（第1面）で土器埋納土坑や道路状の縦敷きや、粗粒砂層を掘り込む面（第2面）で溝などを検出した。のことから、当該地域では、北部の微高地帯では居住空間、南部の低地域では生産域の土地利用がなされていたことが明らかになった。

3-3 中央新幹線高下作業ヤード建設工事に 伴う試掘調査《宝蔵地外》

所 在 地 富士川町高下地内

調査期間 2019年6月3日～4日（第1次）、

2020年2月13日～20日（第2次）

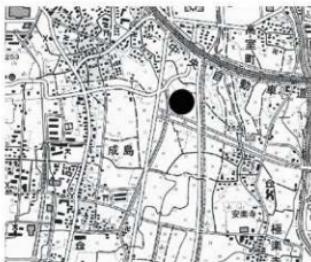
調査面積 第1次：35m²、第2次：80.63m²（調査対象面積7,200m²）

担 当 者 深澤一史・數野 優・熊谷晋祐・岩永祐貴

当該地は、巨摩山地から流れる小柳川の上流に位置しており、山間に中に集落が細長く展開している。小柳川と段丘の比高差は激しく、集落も急斜面を造成して生活していることから、全体的に河川の浸食により、形成された土地であると考えられる。高下地区は室町時代に南部次郎重清が入植し、集落を開いたといふ伝承があり、妙乗寺が南部次郎重清の館跡であるとされている。また、川の西側の段丘を登ったところにある平地には、绳文時代や弥生時代の散布地である下高下遺跡が存在する。

すべての試掘トレーナーにおいて、表土・水田床土より下層は、地表下2.4m付近まで土石流による二次堆積であった。調査範囲西側のトレーナーを中心地表下1.6m付近から礫を含まない褐色粘質土を検出した。この粘質土は、粘性が強く山土の地山と判断でき、土石流堆積の下層に遺跡がある可能性は低い。

試掘調査の結果、調査範囲の全体で二次堆積が認められた。そして、二次堆積の下層は礫を含まない粘質土と岩盤層を確認し、遺構・遺物も認められなかった。こうしたことから、今回試掘調査を行った地点においては、工事を着手して差し支えないと判断される。しかし、作業ヤードは広範囲に及ぶことから、周辺地点の試掘調査を継続する必要がある。



調査地点位置図 (1/25,000)



調査地点位置図 (1/25,000)



3-4 新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設工事に伴う試掘調査(北畠南遺跡・包蔵地外)

所在地 笹吹市石和町東油川地内
 調査期間 2019年5月27日～30日、6月25・26日、7月2日(北畠南遺跡地点)、2020年10月21日～10月28日(包蔵地外)
 調査面積 北畠南遺跡地点:813m²(対象面積約9.000m²)、
 包蔵地外地点:約500m²(対象面積約4.000m²)
 担当者 宮里学・深澤一史・御山亮済・熊谷晋祐



調査地点位置図(1/25,000)

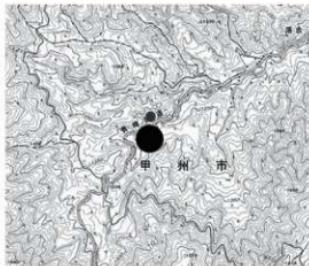
新山梨環状道路東部区間Ⅱ期建設事業は、甲府市落合町から笛吹市石和町広瀬までの区間における事業である。調査地点は濁川および

平等川(旧笛吹川)と現笛吹川が合流する地点にあり、標高は254m程度である。調査地点は周知の埋蔵文化財包蔵地外であり、周辺には散布地がわずかに認められる程度である。

2019年5月～7月に実施した地点の試掘調査では、一部のトレーンチにおいて、GL-3.0m～3.5mに中世の遺物を含む暗灰色の砂質シルト層と、GL-4.0m以下に古墳時代～平安時代の遺物と炭化物を含む黒褐色砂質シルト層が確認された。トレーンチのうちの一つでは、黒褐色砂質シルト層上面において、ビット等の遺構が検出された。このことから、調査対象地点を北畠南遺跡として新たに笛吹市の遺跡台帳に登録した。また、遺構を検出したトレーンチや遺物の多く出土した範囲を中心に、記録保存による埋蔵文化財の保護が必要と判断した。

3-5 一般国道411号御屋敷拡幅事業に伴う試掘調査(馬場平遺跡)

所在地 甲州市塩山上荻原地内
 調査期間 2019年5月15日～16日(第1次)、2019年8月1日(第2次)
 調査面積 第1次:40m²、第2次:9m²(調査対象面7.200m²)
 担当者 深澤一史・熊谷晋祐・岩永祐貴・小池準一



調査地点位置図(1/25,000)

本事業は、一般国道411号御屋敷拡幅事業に伴う試掘調査である。
 調査地点は柳沢川左岸に位置し、旧青梅街道と重複する。

第1次調査での、2号トレーンチは、地表下約0.4m以下から縄文時代中期中葉(新道式)の土器片が出土した。精査の結果、2号トレーンチから、地表下0.7mから土坑3基を確認した。このうち1基から土器片1点と水晶の石核が出土した。3号トレーンチは、遺物は確認できなかつたが、地表下1.1mから土坑を2基確認した。遺物が伴っていないが、2号トレーンチと遺構検出面が同じであり、縄文時代中期のものと想定される。

調査の結果、調査地点である緩斜地と平坦面に縄文時代中期の遺跡が認められ、事業に先立って埋蔵文化財の調査対応が必要と判断した。

第2次調査における、1・2・3号トレーンチは、地表下0.2m付近から明黄褐色ローム質土の地山となり、地山検出面に遺構は認められなかつた。第2次調査では、1次調査より地山面が0.1～0.2mほど浅い地点で認められ、遺物包含層は無く、縄文時代中期の遺構・遺物は確認できなかつた。このため、第2次試掘調査地点では工事を進めて差し支えないと判断した。

試掘調査では、旧石器時代の遺物は確認できなかつたが、周辺には旧石器時代の文化面があることが想定でき、今後開発事業がある場合には注意が必要である。



3-6 公園施設(四ツ目垣)設置事業に伴う 試掘・立会調査《史跡甲府城跡》

所 在 地 甲府市丸の内一丁目地内

事 業 名 公園施設(四ツ目垣)設置工事事業

調査機関 2019年6月11日～17日、7月24日

調査面積 約7m²

担 当 者 正木季洋・柴田亮平・佐賀桃子

公園施設(四ツ目垣)設置工事事業に伴い、史跡甲府城跡の試掘調査を行った。事業予定地は舞鶴城公園北側石垣前の一帯(地点①)、本丸曲輪天守台西側(地点②)、あじさい広場西側の石垣前(地点③)

である。地点①は過去に発掘調査が実施されており、公園施設工事による影響がないと判断されるものの、地点②・③については、地下遺構までの深度等の詳細な情報が不足していることから、工事に先立ち、試掘調査を実施することとなった。

地点②は2ヶ所、地点③は5ヶ所のトレンチを設置し、1～6号トレンチは、縦0.8m×横0.8m、7号トレンチのみ縦1.0m×横1.0mの範囲を設定した。それぞれ人力による掘削及び記録作業を行った。四ツ目垣工事による地下掘削が0.8mのため、試掘調査による掘削深度は、最大1.1mとした。

調査の結果、地点②では地表下0.5m以内、地点③では地表下0.8～1.0m以内の深度まで現代の盛り土の堆積が確認できた。この範囲内であれば垣根等の工事を行っても問題はないことを確認し、現状に復した。

なお、土層中には新旧混在の多量の瓦が出土しており、中には近世の資料も含まれていることから、掘削を伴う工事の際に立会調査を実施した。立会調査の結果、掘削範囲は全て盛り土であり、遺構は確認できなかつたため、埋蔵文化財の保護措置は不要であると判断した。出土遺物は瓦のみで、瓦を回収して立会調査を終了した。



調査地点位置図



3-7 大月警察署上谷交番建設工事に伴う 試掘調査《三ノ側遺跡》

所在地 都留市田原地内

調査期間 2019年9月26日

調査面積 約12m²（調査対象面積約60.8m²）

担当者 深澤一史・熊谷晋祐

大月警察署上谷交番建設工事は、都留市田原地内における交番を新設する工事である。調査地点は周知の埋蔵文化財包蔵地である三ノ側遺跡の範囲であり、隣接する都留文科大学駅駅舎およびロータリーについて都留市教委が調査を実施している。

調査地点は桂川右岸の河岸段丘上に位置しており、北東に向かって

地形が傾斜している。標高は503mで、南側には谷村大堰から流れれる家中川が勢いよく流れている。

試掘調査の結果、調査地点は現地表面まで厚く盛土層（複乱層）が堆積していたが、これらはおそらく奈良・平安時代の遺構面および遺物包含層を削平したのちに盛土されていると考えられる。

以上のことから、調査地点において工事を進めることは、埋蔵文化財保護上差し支えないと判断した。



調査地点位置図(1/25,000)

山梨県埋蔵文化財センター 2017「三ノ側遺跡
(県立都留興國館高校地点)」を一部改変

3-8 高速自動車国道中部横断自動車道新設 工事に伴う試掘調査

所在地 南巨摩郡南部町矢島地内

調査期間 2019年12月11日～13日

調査面積 99.1m²（調査対象面積約1500m²）

担当者 深澤一史・御山亮清

南部町字矢島地内の試掘調査は、中部横断自動車道の四車線化工事に先立ち実施したものである。

試掘調査では、幅約2mの試掘トレーニングを6箇所設定した。表層の旧

耕作土または宅地造成土を除去すると、河川由来の砂礫層が地表面下

約2200～2600mmまで堆積していた。砂礫層は、小径粒と大径粒の小礫～礫が互層に堆積しており、部分的に福士川下流方向に向かって発達するラミナが観察できる。砂礫層の下からは明褐色粘土層を確認した。粘土層は東から西に向かって厚く堆積し、東に向かって深く落ち込んでいる状況を確認した。調査対象範囲の中央部で筋状に深くえぐれている様子が確認でき、富士川に向かう氾濫路であると考えられる。

今回の調査では、昨年度成果と同様に遺構や遺物の出土は認められないため、当該地における遺跡は無いと判断した。したがって、当該試掘調査対象地における埋蔵文化財の保護措置は不要と判断したが、佐野十石衛門星敷が近接することから、近隣において開発が行われる際には、改めて埋蔵文化財の調査を実施する必要がある。



調査地点位置図



3-9 市川郵便局新築工事事業に伴う試掘調査

所在地 西八代都市川三郷町市川大門2345

調査期間 2020年1月25日～26日

調査面積 15.6m²（調査対象面積216m²）

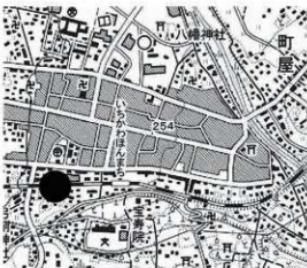
担当者 深澤一史・御山亮済

日本郵政株式会社が行う市川大門郵便局新築工事に伴い、約216m²を対象として試掘調査を実施することになった。

調査の結果、3期の文化層を検出した。地表面下約1,600mm地点で、南北方向に伸びる幅300mmの硬化面を確認した。硬化面の隅から出土した内耳土器片から、中世に帰属する遺構と判断した（第1期）。

地表面下約1,500mm地点では、銅鏡、天目茶碗、染付端反碗が逆位で重なって出土した。江戸時代後期頃の地鎮と想定される（第2期）。地表面下約750mm地点では、近世末頃の可能性がある陶磁器を包含する文化層を検出した（第3期）。

当該地点は、近世甲斐国3つの代官所の内の1つである市川代官所が所在する市川大門村の中にある。今回の調査により、現在する市街の下に遺跡が展開していることが明らかとなった。調査結果を踏まえ、調査対象地点を周知の埋蔵文化財包蔵地「御陣屋遺跡」として追加した。また、遺跡周辺においても近世村落が展開するため、積極的な地下情報の取得に努める必要がある。



調査地点位置図

3-10 県立北杜高校跡洗場建設事業に伴う立会調査《原町農業高校前遺跡》

所在地 北杜市長坂町浜沢1007-19（県立北杜高校敷地内）

調査期間 2019年10月17日（木）

調査面積 1.14m²（調査対象面積14.73m²）

担当者 吉岡 弘樹

本事業は、県立北杜高校跡洗場建設事業に伴う立会調査である。立会は、工事開始日に実施される基礎工事の工程に合わせて実施した。

事業予定地は、周知の埋蔵文化財包蔵地である原町農業高校前遺跡内に含まれている。事業は、屢々に接続するように支柱を6本建てた上に屋根を葺くという軽微なものであることから、令和元年10月11日（金）に学校施設課と学術文化財課で事前協議を行った上で埋蔵文化財センターに立会依頼がされた案件である。

調査に当たって、施工業者から工事の説明を受けた後に、コンクリートの敷き土間部分と（支柱4本）とコンクリート無し土間部分（支柱2本）を掘削・精査土層を観察した。どの地点でもトレンチ内に遺構の検出は無く、排土中などまで確認したところ遺物も検出されなかつた。

調査の結果、調査位置は原町農業高校前遺跡の中でも削平された後に盛り土がなされ平坦地を形成したと類推され、遺構・遺物ともに認められなかつた。そのため、当地点では工事に着手しても支障はないものと判断した。



調査地点位置図



3-11 舞鶴城公園武徳殿改修工事に伴う立会 調査《史跡甲府城跡》

所 在 地 甲府市丸の内一丁目49番地内

事 業 名 舞鶴城公園武徳殿改修工事

調査期間 2020年1月6日

調査面積 約0.6m²（調査対象面積0.66m²）

担 当 者 正木季洋・柴田亮平

本事業は都市公園舞鶴城公園内にある武徳殿の改修工事に伴う立会調査であり、当地は国指定史跡甲府城跡の範囲内にある。事業主体者である山梨県警察本部と山梨県教育庁学術文化財課による事前協議の結果、工事により深さ約0.35mの掘削がおこなわれる下水道付け替え工事について立会調査が必要とされ、埋蔵文化財センターに依頼された。

調査の結果、多数の瓦が出土したものの、掘削範囲は既掘範囲内であり、遺構は認められなかった。このことから当地点では工事に着手しても差し支えないものと判断される。



調査地点位置図

3-12 中央新幹線への電力供給を目的とした 送電線建設事業に伴う踏査

所 在 地 西八代郡市川三郷町上野地内

調査期間 2019年12月5日

調査面積 -

担 当 者 深澤一史・御山亮済

本事業は、東京電力パワーグリッド株式会社リニア供給線山梨建設事務所が実施する、リニア中央新幹線に電力供給するための送電線建設に先立つ現地踏査である。

現計画では、笛吹市から富士川町の山中の各所に送電線を建設する計画である。送電線経路のうち1箇所について、山中の比較的平坦地に該当することから、計画段階で事前に埋蔵文化財包蔵地に該当する可能性があるか、事業者、学術文化財課、埋蔵文化財センターの三者で現地確認を行うことになった。

対象地点は笛吹左岸の山中にあり、頂部の標高は556.8mである。調査の結果、頂部には本丸に該当する平場があり、平場に続く尾根上には堀切や土塁が築かれており、曲輪が造成されている状況を確認した。したがって、当該地には山城が存在するといえる。これまでに『甲斐国志』をはじめとする文献史料では当該地に城（跡）が存在したといった記録が見当たらない。規模も小規模であることから、烽火台の可能性も考えられる。山城の専門家や市川三郷町の文化財担当職員と情報共有をするとともに、埋蔵文化財の保護について協議を継続する。



調査地点位置図

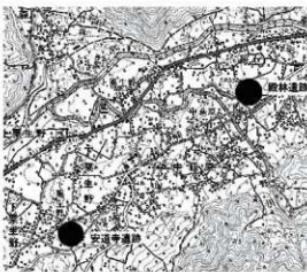
3-13 国営施設機能保全事業に先立つ詳細分布調査事業に伴う踏査《殿林遺跡・安道寺遺跡》

所 在 地 甲州市塩山上萩原・中萩原・下栗生野地内

調査期間 2019年4月1日～2020年3月31日

調査面積 殿林遺跡 55.000m²、安道寺遺跡70.000m²

担 当 者 榎田亮平・御山亮済・熊谷晋祐・北澤宏明・岩永祐貴・佐賀桃子



調査地点位置図(1/50,000)
殿林遺跡(右上) 安道寺遺跡(左下)

2014年度より実施している甲州市殿林遺跡・安道寺遺跡周辺の詳細分布調査事業は、農林水産省関東農政局西関東土地改良調査管

理事務所笛吹川沿岸支所が実施している笛吹川沿岸国営施設機能保全事業(2012年～2021年度)に先立ち、埋蔵文化財の破壊を未然に防ぐため、両遺跡の埋蔵文化財の遺存状況の把握等をしていくものである。

本年度は、作業員4名を雇用し、図版作成および遺物の写真撮影・写真図版を作成し、報告書刊行を行った。また、2015年度の調査で出土・採集した遺物の権利放棄の手続きも並行して実施した。

殿林遺跡は、北東から南西に延びる段丘が3本ある。これらの段丘ごとに土器の分布を確認したところ、西側の段丘面で遺物を多く採集できた。しかし、分布範囲が時期別に変化するなどの特徴はなかったが、主に曾利式が採集された。また、トレンチ調査での遺物の出土は少なく、第5号トレンチと第11号トレンチのみで出土した。これも曾利式を主とする様相であった。

安道寺遺跡内においても、北から南へ延びる段丘が3本ある。これらを「東側」「中央」「西側」として表面採集できた遺物を時期別に確認した。その結果、東側と中央の段丘面から多量の遺物を採集しており、両段丘ともに曾利式が多く発見されている。東側と中央の段丘では、曾利式以前の様相について若干の差異が認められる。中央の段丘は、東側の段丘に比べ、绳文時代中期の五領ヶ台式や勝坂式が多い傾向があった。なお、西側の段丘からは、明確な結果は得られなかった。こうしたことから、中央の段丘面に曾利式以前の集落の中心があり、その後曾利式二期に安道寺遺跡全体に全体に集落範囲が広がっていった可能性が指摘できる。



第Ⅲ章 県内の概況

1 届出件数と内容

2019年度、県内の埋蔵文化財調査による届出件数については、法92条・8(6)件、法93条・163(249)件、法94条・27(29)件、法96条・0(0)件、法97条・0(1)件、法98条・0(0)件、法99条・252(201)件である。届出の総件数は450(486)件であり、前年度と比較すると、民間主体の開発工事のうち、発掘調査を要するものについて、減少傾向が認められる。また、法99条により包蔵地外において発掘調査を実施した地点のうち、新たに5つの遺跡が発見されている。

* () 内数字は前年度。過去20年間の件数の変遷は47頁の表のとおり。

なお、当県では2007年度より、文化財保護法施行令第5条に基づき県教育委員会が行うこととされている文化財保護法第93条の指示及び第94条の勧告に係る権限について、一部移譲を行っている。これにより、埋蔵文化財専門職員が設置されている市町については、工事立会・慎重工事などの軽微な指示・勧告を行うことができるようになっている。そのため、ここに報告する2019年度における法第93条・94条の届出数は、県の権限に基づく指示・勧告の件数と同義であることを補足しておく。

2 発掘調査

2019年度に実施された県内の発掘調査件数は、一覧表のとおり266(248)件(発掘調査学術調査等含む)となっている。その内訳は、県教委による調査が34(12)件、市町村教委による調査が224(250)件、民間調査組織による調査が8(8)件である。発掘調査の原因是、道路19(14)件、鉄道22(3)件、河川0(0)件、学校建設4(2)件、集合住宅7(9)件、個人住宅70(85)件、工場2(4)件、店舗10(12)件、個人住宅兼工場又は店舗1(1)件、その他建物20(33)件、宅地造成40(51)件、土地区画整理1(0)件、公園造成1(0)件、ガス・電気・電話・水道2(4)件、農業基盤整備事業16(7)件、農業基盤整備事業以外の農業関係事業0(2)件、土砂採取0(0)件、その他開発18(19)件、自然崩壊0(0)件といった緊急調査と、学術調査2(1)件、保存目的の範囲確認2(2)件、遺跡整備3(2)件があった。緊急調査では、リニア中央新幹線建設工事に伴う試掘調査について、調査地点ごとにカウントする方法に変更したことから、県教委の調査及び鉄道が原因となる調査が大幅に増加している。宅地造成や、個人住宅については、前年度に比較してやや数が減少している。

* () 内数字は前年度。

3 県・国指定有形文化財(考古資料)及び県・国指定史跡

2019年度は、新たな指定はなかったが、国指定史跡甲府城跡の管理団体として、山梨県が指定された(2020年3月10日)。現在、山梨県内の県指定有形文化財(考古資料)は46件、県指定史跡は29件、国重要文化財(考古資料)は6件、国指定史跡は16件である。

4 発掘調査の成果と保存整備事業

2019年度に実施された266件のうち、多くは、記録保存を目的とした開発事業に伴う緊急調査であるが、それぞれ地域にとって重要な成果が報告されている。北杜市中原遺跡では、弥生時代後期の方形周溝墓が見つかり、同時代の土坑から壺棺墓が発見されたほか、圃場整備事業に伴って西久保A遺跡・B遺跡の調査が実施され、平安時代の集落跡が確認されている。韮崎市では御座田遺跡の調査が行われ、中世から近代にかけての村落の様子が判明しつつあるほか、青木東田遺跡からは製鉄遺構と想定される遺構が検出された。荒川扇状地にあたる、甲斐市御岳田遺跡や甲斐市音羽遺跡の発掘調査では、複数の時期の遺構が連續し造られている様子が判明している。笛吹市では、北畠南遺跡の発掘調査が行われ、地表下5.0mより古墳時代の集落跡が確認されている。山梨市では金山林遺跡の調査が行われ、「山梨」の墨書きをもつ平安時代の土器が出土し話題となった。甲州市では多摩川源流の標高1256mに位置する馬場平遺跡より、绳文時代の土器に併い500点以上の水晶片が出土している。市川三郷町では、前年度に引き続き新町前遺跡の調査が行われ、遺構の広がりが確認されている。大月市では、藤崎岡遺跡において绳文時代中期の集落跡が見つかった。



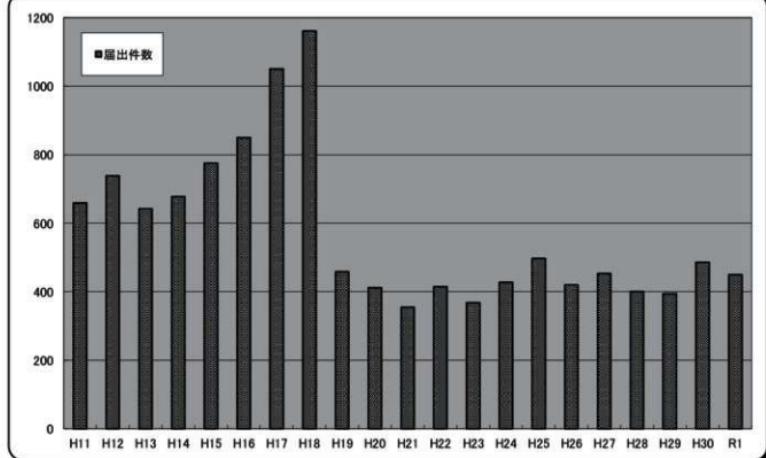
このほかに、学術調査・史跡整備を目的とした発掘調査が5件ある。甲府市の国史跡武田氏館跡の調査では、味噌曲輪より三日月堀の一部が検出されている。南アルプス市では梯形堤防の調査が行われ、その構造や改修の変遷が明らかとなつた。笛吹市の亀甲塚古墳では、周溝部分の調査が行われ、覆土内から古墳時代前期の遺物が出土している。

5 発掘調査体制

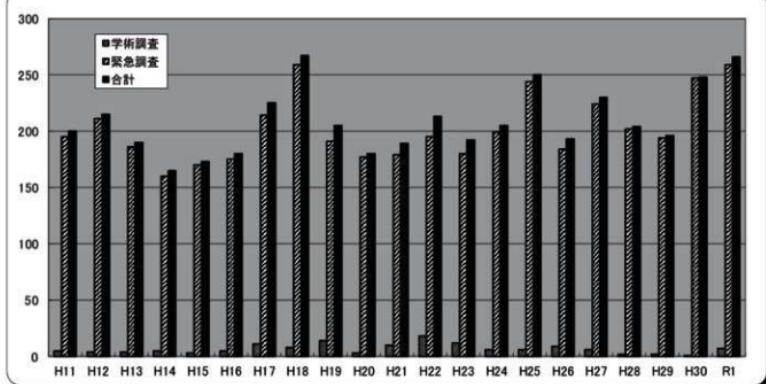
埋蔵文化財専門職員について、県では学術文化財課4名、埋蔵文化財センター18名（うち教員派遣交流3名、非常勤嘱託2名）、博物館2名、考古博物館4名である。市町村では、甲府市9名、富士吉田市2名、甲州市1名、大月市1名、韮崎市3名、南アルプス市3名、笛吹市5名、甲斐市3名、北杜市5名、山梨市1名、中央市2名（昭和町を兼務）、都留市1名、上野原市1名、身延町1名、富士河口湖町2名、それ以外の町村では配置されていない。県と市町村の合計人数は68名となっている。

近年、専門職員の新規採用など埋蔵文化財担当者が増員される事例もみられるが、現状の埋蔵文化財担当者の配置率は、27市町村のうち16市町村で約59%であり、平成15年度の61%（64市町村のうち39市町村）と比べ減少している。文化財保護法の改正に伴い、文化財を活かしたまちづくりを推進する市町村がある一方、文化財専門職員の未配置となっている自治体では、文化財行政に支障をきたす事例も発生している。また、いくつかの自治体では、職員の定年退職に伴い、欠員補充として新規に職員を採用したことにより、経験や実績の浅い若手職員の割合が増加傾向にある。このように、埋蔵文化財行政をとりまく環境は大きく変化しており、実情に見合った適切な専門職員配置やその育成は大きな課題である。行政としては、記録保存のための発掘調査の実施にとどまらず、これまでの膨大な調査成果の蓄積を適切に保存・研究・活用し、歴史を活かした地域づくりに資するなど、多様な業務を実施し、国民の期待に応えることが求められている。

届出件数の推移※ H19 年度以降は専門職員配置市町内の処理件数（立会・慎重工事の指示・勧告）は含まない。



発掘調査件数の推移



2019年度 山梨県内発掘調査 試掘・確認調査を含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	調査の名稱	所 在 地	面積(m ²)	遺跡の種別	時代	調査目的	調査主体
1	原遺跡	南都留市本郷西	17.29	散在地	縄文・中期・平安	個人住宅	井部町教育委員会
2	立原遺跡	北杜市高根町上原沢	12.17	集落跡	縄文・古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会
3	立原遺跡外	山梨市小原西	72.09	集落跡	縄文・古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会
4	中原遺跡	北杜市高根町小池	167.00	集落跡・その他の遺跡	縄文・古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会
5	宮原第4遺跡	南都留市高根町御井	72.09	城郭跡	縄文・古墳・平安	個人住宅	井部町教育委員会
6	宮原第5遺跡	北杜市高根町御井	408.62	集落跡	縄文・古墳・平安	その他の施設	北杜市教育委員会
7	足川遺跡	山梨市百万石	56.00	集落跡	古墳・平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会
8	通川遺跡	南都留市木戸山川	3.00	集落跡	平安	工場	北杜市教育委員会
9	南都留遺跡	北杜市高根町大久田	105.80	散在地	平安	その他の施設	北杜市教育委員会
10	猪飼神社社跡(中群)	山梨市北	8.00	社寺跡	中世・古墳	個人住宅	北杜市教育委員会
11	猪飼神社社跡	山梨市北	3.00	集落跡	近世	個人住宅	山梨市教育委員会
12	猪飼神社第2遺跡	北杜市高根町東山	23.90	散在地	縄文・古墳	個人住宅	北杜市教育委員会
13	猪飼神社第2遺跡	南都留穴山町伊豆富	3.00	散在地	縄文・中期・古墳	その他の施設	北杜市教育委員会
14	猪飼神社第2遺跡	甲斐市上曾根町	1.00	散在地	平安	学校建設	甲斐市教育委員会
15	穴山古墳	甲斐市音羽川二丁目	130.00	古墳	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
16	穴山古墳	北杜市高根町本沢	122.66	古墳	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
17	深谷第3遺跡	甲斐市音羽川二丁目	22.00	散在地	古墳	古墳を参考して調査(適合なし)	甲斐市教育委員会
18	深谷第3遺跡	南都留市高根町御井	3.00	散在地	中世	個人住宅	井部町教育委員会
19	深谷第3遺跡	山梨市下石保	60.00	散在地	縄文・平安・中世	宅地造成	山梨市教育委員会
20	甲斐城下町遺跡	甲斐市中央二丁目	135.50	城下町	古墳	古墳	甲斐市教育委員会
21	二ツ塚遺跡	甲斐市音羽川二丁目	3.00	散在地	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
22	合宿遺跡	甲斐市音羽川二丁目	65.00	集落跡	出生・古墳・古墳・奈良・平安	宅地造成	甲斐市教育委員会
23	合宿遺跡	甲斐市音羽川二丁目	4.00	集落跡	縄文・古墳・古墳・奈良・平安	その他の施設	甲斐市教育委員会
24	下條北遺跡	北杜市高根町本沢下条	226.56	散在地	古墳	古墳	甲斐市教育委員会
25	下條北遺跡	山梨市三ヶ所	10.00	散在地	古墳	古墳	甲斐市教育委員会
26	中條遺跡	甲斐市大塔	3.00	散在地	古墳	古墳	甲斐市教育委員会
27	包装遺跡	南アルプス市駒込	101.5	散在地	出生・古墳	宅地造成	アルプス市教育委員会
28	包装遺跡外	南アルプス市駒込	16.6	散在地	出生・古墳	その他の施設	アルプス市教育委員会
29	明神社遺跡・墓地	甲斐市山本川	13.50	散在地・堤防跡	中世・古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
30	若狭遺跡	南都留市上原町三条頭	4.00	集落跡	縄文・平安	個人住宅	井部町教育委員会
31	日吉遺跡	甲斐市大塔	3.00	散在地	縄文	その他の施設	甲斐市教育委員会
32	深谷第4遺跡	南都留市大野町上野東源	33.00	集落跡	縄文・平安	個人住宅	井部町教育委員会
33	深谷第4遺跡	山梨市大工	80.00	集落跡	縄文・古墳・平安	個人住宅	北杜市教育委員会
34	下條遺跡	北杜市高根町木室原	51.40	集落跡	出生・平安	工場	北杜市教育委員会
35	下條遺跡	北杜市高根町大久田	85.04	散在地	縄文	その他の施設	北杜市教育委員会
36	二ツ塚遺跡	可憐山市玉王町	3.00	散在地	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
37	日吉遺跡	上野原市上野見	4.00	散在地	古墳・奈良・平安・中世	道路	上野原市教育委員会
38	深谷第4遺跡	山梨市高根町青柳	4.00	集落跡	縄文・平安	宅地造成	井部町教育委員会
39	宮原遺跡	北杜市高根町小池	36.04	集落跡	縄文	その他の施設	北杜市教育委員会
40	下條遺跡	山梨市高根町木室原	3.00	集落跡	平安	その他の施設	北杜市教育委員会
41	古ノ原第3遺跡	南アルプス市寺尾	10.6	その他の遺跡	古墳・奈良・平安・中世	宅地造成	アルプス市教育委員会
42	加美男遺跡	山梨市	5.00	散在地	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会
43	内牧遺跡	甲斐市境	1.00	散在地	古墳	その他の施設	甲斐市教育委員会

2019年度 山梨県内発掘調査 試掘・確認調査を含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	調査の名稱	所 在 地	面積(m ²)	遺跡の特徴	時代	調査目的	調査主体	調査期間
44	北山遺跡	山梨市吉井町北山1丁目	300	集落跡	弥生・平安	その他遺跡	山梨市教育委員会	R1.6.6~R1.6.6
45	原山遺跡	山梨市由木町原山1丁目	11.00	散布地	縄文・平安・中世	その他遺跡	山梨市教育委員会	R1.6.11~R1.6.18
46	原山遺跡	山梨市由木町原山2丁目	300	集落跡	縄文・平安・中世	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.11~R1.6.11
47	原山遺跡	山梨市吉井町原山2丁目	200	集落跡	縄文・奈良・平安	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.5~R1.6.7
48	山梨市吉井町原山	山梨市吉井町原山1丁目	300	集落跡	平安	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.12~R1.6.12
49	北山遺跡	北山市高根町北山1丁目	100	集落跡	縄文	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.13~R1.6.13
50	北山遺跡	北山市高根町北山1丁目	9.00	集落跡	縄文	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.13~R1.6.13
51	羽庭遺跡	山梨市大朝町一之条町羽庭	3.00	散在地	縄文	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.6.17~R1.6.17
52	中条遺跡	河口湖町中条	500	散在地	中世・平安	既存施設事業(借道含む)	山梨市教育委員会	R1.6.28~R1.6.17
53	東山遺跡	南アルプス市山梨町東山	11.9	散在地	近世・近現代	その他の開発	山梨アルプス市教育委員会	R1.5.28~R1.6.17
54	西山遺跡	南アルプス市山梨町西山	601	散在地	古墳・平安	その他の開發	山梨アルプス市教育委員会	R1.5.28~R1.6.17
55	西山遺跡	北山市吉井町西山1丁目	52.9	集落跡	縄文	その他の開發	北山市教育委員会	R1.6.28~R1.6.28
56	足利城外	甲州市塩山市上野原	11.35	散在地	中世・近世	その他遺跡	甲州市教育委員会	R1.6.25~R1.6.25
57	足利城外	北山市高根町足利	11.14	散在地	中世・近世	集合住宅	北山市教育委員会	R1.6.25~R1.6.25
58	足利城外	山梨市吉田	3.00	散在地	古墳	その他の開發	山梨市教育委員会	R1.6.26~R1.6.26
59	足利城外	山梨市吉田	120.00	散在地	中世	その他開發	山梨市教育委員会	R1.6.26~R1.7.2
60	上山遺跡	北山市吉井町上山	17.36	散在地	縄文・平安	個人住宅	北山市教育委員会	R1.6.26~R1.6.26
61	前川遺跡	北山市吉井町神坂	50.24	集落跡	古墳・平安・中世・近世	個人住宅	北山市教育委員会	R1.6.27~R1.6.28
62	坂上遺跡	南アルプス市坂上丸山	3.00	散在地	縄文	その他の開發	南アルプス市教育委員会	R1.6.27~R1.6.27
63	甲州城下町遺跡	甲州市中央町下町	5.00	城下町	中世・近世	個人住宅	甲州市教育委員会	R1.6.25~R1.6.25
64	甲斐源頭跡	北山市吉井町吉井出	49.24	集落跡	縄文・平安	その他の開發	北山市教育委員会	R1.7.1~R1.7.29
65	小北遺跡	山梨市大工	6.00	散在地	縄文・平安	その他の開發	山梨市教育委員会	R1.7.2~R1.7.29
66	小北遺跡、大工北遺跡	山梨市大工	30.00	散在地	縄文・平安	道路	山梨市教育委員会	R1.7.3~R1.7.3
67	足利城外	山梨市大野	60.00	散在地	中世	その他開發	山梨市教育委員会	R1.7.5~R1.7.17
68	曾我遺跡	甲州市曾我町新居	38.90	散在地	縄文	その他開發	甲州市教育委員会	R1.7.1~R1.7.2
69	曾我遺跡	甲州市曾我町新居	6.83	散在地	縄文	個人住宅	甲州市教育委員会	R1.7.2~R1.7.2
70	曾我遺跡	甲斐源頭町曾我	3.00	散在地	縄文	個人住宅	甲斐源頭町教育委員会	R1.7.10~R1.7.10
71	坂上遺跡	甲斐源頭町三日月	12.00	散在地	弥生・小国・播磨・奈良・平安	集合住宅	甲斐源頭町教育委員会	R1.7.8~R1.7.8
72	金子林遺跡	山梨市鳴谷寺	66.00	集落跡	縄文・平安	道路	山梨市教育委員会	R1.7.17~R1.8.20
73	衣笠神社占墳	川根本町白井町	48.30	占墳	古墳	その他他の遺跡	川根本町教育委員会	R1.7.11~R1.7.3
74	羽庭遺跡	山梨市吉井	7.00	散在地	平安	個人住宅	山梨市教育委員会	R1.7.24~R1.8.16
75	足利城下町遺跡	北山市長坂町長坂下条	165.00	集落跡	古墳・平安	その他開發	北山市教育委員会	R1.7.25~R1.9.3
76	金の屋遺跡	甲斐源頭町下条	43.43	集落跡	縄文・平安・中世	集合住宅	甲斐源頭町教育委員会	R1.7.28~R1.7.22
77	足利城外	甲斐源頭町下条	7.19	散在地	縄文	その他の開發	甲斐源頭町教育委員会	R1.7.20~R.8.2
78	内山遺跡	甲斐市塩山町内山町内山	12.00	集落跡	縄文・平安	集合住宅	甲斐市教育委員会	R1.8.6~R1.8.16
79	内山遺跡・御所野遺跡	笛吹市小坂町内山	65.00	散在地	彌生・奈良・平安	その他他の遺跡	笛吹市教育委員会	R1.8.1~R1.8.8
80	別所遺跡	北山市大泉町小坂	17.80	散在地	近世	その他開發	北山市教育委員会	R1.8.8~R1.8.8
81	足利城外	北山市大泉町下条	10.00	散在地	縄文・平安	その他開發	北山市教育委員会	R1.8.9~R1.8.9
82	足利城外	甲斐源頭町下条	21.70	集落跡	縄文・平安	その他遺跡	甲斐源頭町教育委員会	R1.8.19~R1.8.20
83	足利城外	北山市長坂町大野	36.20	散在地	中世	道路	北山市教育委員会	R1.8.21~R1.8.21
84	足利源頭遺跡	笛吹市源頭町志賀草	16.00	坂下町	古墳	集合住宅・店舗	笛吹市教育委員会	R1.8.5~R1.8.5
85	川根本町下条	川根本町中央1丁目	23.00	散在地	縄文・平安	既存施設事業(借道含む)	川根本町教育委員会	R1.8.22~R1.9.3
86	足利源頭遺跡	山梨市下条	23.00	散在地	縄文・平安	既存施設事業(借道含む)	山梨市教育委員会	R1.8.22~R1.9.3

2019年度 山梨県内発掘調査 試掘・確認調査(含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	遺跡の名稱	所在	面積(m ²)	遺跡の特徴	調査年	調査目的
87	下ノ原遺跡	山梨市小原町牛井ヶ森	80.00	食事場	平成	出土遺物
88	足寄城外	北杜市市原町牛井ヶ森	40.00	食事場	平成	出土遺物
89	足寄城外	北アルプス市牛井ヶ森	78.88	食事場	平成	出土遺物
90	足寄城外	山梨市牛井ヶ森	348.77	食事場	平成	出土遺物
91	高瀬川遺跡	山梨市小瀬川町上原毛	6.00	集落跡	平成	個人住宅
92	高瀬川遺跡	山梨市小瀬川町上原毛	139.20	集落跡	平成	その他の開発
93	高瀬川遺跡	山梨市山中町上原毛	38.20	散在地	平成	出土遺物
94	高瀬川遺跡	山梨市山中町上原毛	30.00	散在地	平成	個人住宅
95	高瀬川の水路跡	山梨市山中町山西湖	12.88	食事場	平成	出土遺物
96	武田城下町遺跡	山梨市古御町下町	6.00	食事場	平成	個人住宅
97	武田城下町遺跡	山梨市古御町下町前	10.00	食事場	平成	個人住宅
98	高瀬川二日町跡	山梨市和田町上	12.00	食事場	平成	出土遺物
99	高瀬川二日町跡	山梨市山中町上平井	5.00	散在地	平成	個人住宅
100	松代城跡	山梨市伊勢一丁目	4.00	寺寺跡	中世	個人住宅
101	百人一上山城跡	北アルプス市八日川	2.80	散在地	中世	個人住宅
102	百人一上山城跡	北アルプス市八日川	10.50	散在地	中世	個人住宅
103	百人一上山城跡	北アルプス市八日川	3.00	散在地	中世	個人住宅
104	夏見遺跡	北アルプス市八日川	45.46	散在地	中世	個人住宅
105	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	9.90	散在地	中世	個人住宅
106	足寄城外	北杜市小瀬川町鶯尾	1.89	散在地	中世	個人住宅
107	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	5.00	散在地	中世	個人住宅
108	下ノ原遺跡	北杜市高根町高根新町	104.55	集落跡	中世	個人住宅
109	上ノ原遺跡	山梨市山中町牛井ヶ森	2.00	城郭跡	中世	個人住宅
110	高根新町遺跡	山梨市山中町牛井ヶ森	32.40	散在地・城下町	中世	その他の施設
111	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	45.00	散在地	中世	出土遺物
112	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	1.70	散在地	中世	個人住宅
113	百人一上山城跡	北アルプス市八日川	921.00	散在地	中世	個人住宅
114	高根新町遺跡	北杜市高根町高根新町	45.00	散在地	中世	個人住宅
115	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	47.22	散在地	中世	個人住宅
116	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	16.80	占墳	古墳	出土遺物
117	因合城跡	南アルプス市山中町牛井ヶ森	13.46	集落跡	中世	個人住宅
118	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	3.00	集落跡	中世	個人住宅
119	坂道跡	北アルプス市牛井ヶ森	6.00	散在地	中世	個人住宅
120	明神遺跡	山梨市山中町牛井ヶ森	28.20	社寺跡・墓葬	古墳・奈良・平安	個人住宅
121	平安令賀跡・御所跡及早野跡	山梨市山中町牛井ヶ森	122.00	食事場	古墳・奈良・平安	個人住宅
122	日吉御所跡・河原跡	山梨市山中町牛井ヶ森	43.00	食事場	古墳・奈良・平安	個人住宅
123	足寄城外	北杜市大泉町西出	7.08	集落跡	中世	個人住宅
124	大上人保育跡	北杜市山中町牛井ヶ森	7.30	集落跡	中世	個人住宅
125	大上人保育跡	山梨市山中町牛井ヶ森	3.00	集落跡	中世	個人住宅
126	足寄城外	山梨市山中町牛井ヶ森	86.88	散在地・集落跡	中世	個人住宅
127	坂道跡	山梨市山中町牛井ヶ森	9.00	散在地	中世	個人住宅
128	高瀬川遺跡	山梨市山中町牛井ヶ森	9.00	散在地	中世	個人住宅
129	高瀬川遺跡	山梨市山中町牛井ヶ森	9.00	散在地	中世	個人住宅

2019年度 山梨県内発掘調査 試掘・確認調査を含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	遺跡の名稱	所在	前面積(m ²)	遺跡の特徴	時代	調査目的	調査主体
(3) 清水遺跡	北杜市長坂町下坂下条	44.7	散在地	縄文・中期・後期・平安	その他の開発	北杜市教育委員会	R1.11.25~R1.11.29
(31) 清水遺跡	北杜市高根町上坂下条	9.80	散在地	縄文・中期・後期・平安	その他の開発	北杜市教育委員会	R1.11.25~R1.11.29
(32) 清水遺跡	南アルプス市山梨野	9.00	散在地・集落跡	縄文・中期・後期	施設造成 施設基盤整備事業(費適否なし)	中央市教育委員会	R1.11.29~R1.11.29
(33) 東山遺跡	中央市本原町東山	16.50	散在地	縄文・奈良・平安	その他の開発	中央市教育委員会	R1.12.2~R1.12.6
(34) テラコッタ遺跡	甲州市高岡町下曾我	18.00	散在地	縄文・奈良・平安	施設造成	甲州市教育委員会	R1.12.10~R1.12.10
(35) 佐久島遺跡	甲州市高岡町上田川	約12	散在地	縄文・中期・後期	施設造成	南アルプス市教育委員会	R1.12.11~R1.12.11
(36) 佐久島遺跡	北杜市高根町下平澤	11.50	散在地	縄文・中期・後期	施設造成	北杜市教育委員会	R1.12.13~R1.12.13
(38) 東・山道跡	山梨県甲府市山道口	散在地	縄文	城下町	施設造成	甲府市教育委員会	R1.12.13~R1.12.13
(39) 人見山遺跡	甲斐市人見町新町	11.26	散在地	田畠跡	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.12.13~R1.12.13
(40) 佐久島遺跡	北杜市高根町人見山	15.70	散在地	縄文・中期	個人住宅	北杜市教育委員会	R1.12.18~R1.12.18
(41) 内原跡	甲州市高岡町内原	7.20	散在地	縄文・中期・後期	個人住宅	北杜市教育委員会	R1.12.19~R1.12.20
(42) 下高瀬遺跡	南アルプス市今瀬跡	約18	散在地	縄文・奈良・平安	施設造成	南アルプス市教育委員会	R1.12.23~R1.12.23
(43) 吉見山遺跡	北杜市高根町吉見山	7.00	散在地	縄文・中期・後期	施設造成	北杜市教育委員会	R1.12.24~R1.12.24
(44) 人見山遺跡	南アル�市人見町人見山	6.00	散在地	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.12.16~R1.12.16
(45) 大庭城下町遺跡	北杜市武田二三日	5.00	城下町	中期	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.12.25~R1.12.25
(46) 俊河駒木水引跡	南アルプス市駒木	15.00	足湯跡	保存目的の施設確認	南アルプス市教育委員会	R1.11.1~R1.12.27	
(47) 人見山遺跡	人見市人見町人見	集落跡	縄文・古墳	集合住宅	保存目的の施設確認	人見市教育委員会	R1.11.1~R1.12.27
(48) 大庭城下町遺跡	甲州市古坂町大庭	16.28	散在地	中期	個人住宅	甲州市教育委員会	R2.1.8~R2.1.8
(49) 佐久島外	山梨県山梨	2.00	散在地	中期	施設造成	南アルプス市教育委員会	R1.18~R1.18
(50) 宝生神社社址中群	山梨県山梨	9.00	社寺跡	中期・近世	個人住宅	北杜市教育委員会	R2.1.9~R2.1.10
(51) 佐久島外	北杜市長坂町上坂下条	141.50	散在地	平安・中期	施設造成	北杜市教育委員会	R2.1.14~R2.1.20
(52) 甲斐國分寺跡	南アルプス市甲斐	101.17	社寺跡	奈良・平安	個人住宅	南アルプス市教育委員会	R2.1.14~R2.1.20
(53) 甲斐國分寺跡	甲斐市山崎町上坂	99.00	散在地	縄文・中期	集合住宅	甲斐市教育委員会	R2.1.15~R2.1.21
(54) 甲斐國分寺跡	甲斐市山崎町上坂	101.00	散在地	中期	施設造成 施設基盤整備事業(費適否なし)	甲斐市教育委員会	R2.1.15~R2.1.21
(55) 甲斐國分寺跡	甲斐市山崎町上坂	101.80	散在地	中期	施設造成	甲斐市教育委員会	R2.1.24~R1.12.24
(56) 甲斐國分寺跡	甲斐市山崎町人見	17.0	散在地	中期・平安	個人住宅	南アルプス市教育委員会	R2.1.23~R2.1.23
(57) 佐久島外	南アルプス市山寺	20.37	散在地	平安・中期	施設造成	南アルプス市教育委員会	R1.12.25~R1.12.25
(58) 佐久島外	甲斐市山子町新宿	32.75	散在地	中期	施設造成	甲斐市教育委員会	R2.1.27~R2.1.27
(59) 佐久島外	甲斐市山子町新宿	25.00	散在地	中期	施設造成	甲斐市教育委員会	R2.2.4~R2.2.20
(60) 佐久島外	甲斐市山子町新宿	6.90	散在地	中期	施設造成	甲斐市教育委員会	R2.2.12~R2.2.28
(61) 佐久島外	山梨縣山方町	88.00	集落跡	中期・平安・中期	工場	北杜市教育委員会	R2.2.18~R2.2.20
(62) 佐久島外	北杜市高根町上野原	103.89	散在地	中期・平安	施設造成	甲州市教育委員会	R2.2.19~R2.2.28
(63) 佐久島古墳	甲斐市山寺下坂	13.20	占墳	中期	保存目的の施設確認	上野原市教育委員会	R2.2.25~R2.3.17
(64) 金木林遺跡	山梨市鷲宮町今井	11.00	散在地	中期	施設造成	山梨市教育委員会	R2.2.27~R2.3.12
(65) 人見山遺跡・二塙遺跡	山梨市山中人見	316.00	散在地	中期・平安・中期・後期	施設造成 施設基盤整備事業(費適否なし)	中央市教育委員会	R2.2.27~R2.3.12
(66) 下田遺跡	南アルプス市山寺	約320	散在地	中期	施設造成	南アルプス市教育委員会	R2.1.8~R2.1.27
(67) 佐久島外	山梨縣山中人見	12.00	散在地	中期・近世	施設造成	北杜市教育委員会	R2.3.10~R2.3.10
(68) 五岳山遺跡	山梨縣山中人見	10.60	散在地	中期	施設造成	甲州市教育委員会	R2.3.10~R2.3.10
(69) 人見山遺跡	南アルプス市人見	77.89	散在地	中期	施設造成	上野原市教育委員会	R2.3.23~R2.3.24
(70) 人見糸魚糸織	南アルプス市人見	8.20	その他	中期	施設造成	南アルプス市教育委員会	南アルプス市教育委員会
(71) 人見糸魚糸織	南アルプス市人見	3.70	散在地	中期・平安	個人住宅	南アルプス市教育委員会	R1.9.13~R1.9.13
(72) 人見糸魚糸織	南アルプス市人見	3.70	散在地	中期・平安	個人住宅	南アルプス市教育委員会	R2.2.25~R2.2.25

2019年度 山梨県内発掘調査 試掘・確認調査を含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	調査の名称	所 在 地	面積 (m ²)	遺跡の種別	時代	調査目的	調査主体	調査期間
173	危険地帯外	南アルプス市山田原	11.92	散布施	縄文・平安・古墳・中世 平安・中世 縄文・平安・古墳・平安	宅地造成 集合住宅 その他の開発 農業基盤整備事業(農道含む)	山梨県教育委員会 山梨県教育委員会 山梨県教育委員会	R2.324~R2.24 R2.325~R2.25 R2.326~R2.26 R1.912~R2.27
174	河川底流跡	南アルプス市山田原	480	散布施	縄文・平安・古墳・中世	集落跡	山梨アルプス市教育委員会	R2.325~R2.25
175	河川底流跡	南アルプス市山田原	18.00	散布施	平安・中世 縄文・平安・古墳・平安	集落跡	山梨アルプス市教育委員会	R2.326~R2.26
176	十日空遺跡	山梨市牛尾尾	6.00	散布施	平安・中世 縄文・平安	集落跡	山梨県教育委員会	R1.912~R2.27
177	危険地帯外	山梨市三ヶ所、東後原	102.00	散布施	縄文・平安・奈良・平安	散路	山梨県教育委員会	R2.124~R2.27
178	阿波池金網跡	北杜市井尻尾	4.00	散布施	縄文・平安・奈良・平安	農業基盤整備事業(農道含む)	山梨県教育委員会	R2.324~R2.27
179	中空遺跡	北杜市井尻尾	13.70	散布施	縄文	道路	北杜市教育委員会	R2.31~R2.35
180	北杜市小瀬原跡	北杜市下野原	10.50	散布施	縄文	ガス・電気・配管・水道	北杜市教育委員会	R2.13~R2.13
181	宮ノ面遺跡	北杜市白州町米来石	16.60	散布施	縄文	その他の開発	北杜市教育委員会	R1.21.21~R2.21
182	杉谷木平遺跡	北杜市小瀬原松坂向	317.80	散布施	田畠跡・櫛文・平安	その他の開発	北杜市教育委員会	R2.123~R2.27
183	杉谷木平遺跡	北杜市小瀬原	109.50	散布施	縄文	農業基盤整備事業(農道含む)	北杜市教育委員会	R2.318~R2.325
184	北山遺跡	北杜市須貝町大瀬	790.32	集落跡	縄文・平安・中世	山塊の削除	北杜市教育委員会	R2.226~R2.27
185	金子遺跡	北杜市高根原町元津	5.11	集落跡	縄文・平安・中世	個人住宅	北杜市教育委員会	R2.327~R2.37
186	金子遺跡	甲斐市下条町の尾	9.00	集落跡	縄文・平安・中世	個人住宅	甲斐市教育委員会	R2.324~R2.30
187	山代川原敷跡	中央市下丁原	15.00	城郭跡	平安・中世	宅地造成	中央市教育委員会	R2.325~R2.31
188	深谷遺跡	北杜市小瀬原松坂向	173.30	散布施	縄文・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	R1.9.30~R1.02.1
189	深谷遺跡	北杜市小瀬原	118.50	散布施	縄文・平安	個人住宅	北杜市教育委員会	R2.21~R2.31
190	曾我遺跡	甲斐市曾我新	3.00	散布施	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.11.10~R1.11.13
191	曾我遺跡	甲斐市曾我新町	3.00	散布施	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.11.29~R1.12.3
192	曾我遺跡	甲斐市曾我新	3.00	散布施	縄文	個人住宅	甲斐市教育委員会	R1.12.4~R1.12.6
193	圓筒山遺跡	韮崎市山崎町山崎	173.00	散布施	平安・中世	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.6.3~R1.7.5
194	山口城跡	韮崎市山崎町山崎	4.00	城郭跡	中世	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.8.7~R1.8.7
195	水ノ氏原鬼怒川2号跡	韮崎市山田町鬼怒川	3.00	城郭跡	中世	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.11.6~R1.11.6
196	日之出遺跡	韮崎市鬼怒町之瀬	51.00	城郭跡	中世	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.2.7~R1.2.9
197	日之出遺跡	韮崎市鬼怒町下桂	8.00	散布施	縄文・平安・古墳	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.9.29~R1.9.25
198	日之出遺跡	韮崎市下条町鬼怒西側	3.00	集落跡	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.9.30~R1.9.30
199	石室遺跡・望月石水道跡	韮崎市穴山町望月	8.00	集落跡	縄文・平安	農業基盤整備事業(農道含む)	韮崎市教育委員会	R1.9.19~R1.9.19
200	十六石・三連跡	韮崎市鬼怒町入佐	3.00	散布施	平安	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.10.10~R1.10.10
201	御宿谷神道跡	韮崎市藤井寺御宿	6.00	散布施	平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.10.2~R1.10.2
202	圓筒山遺跡	韮崎市山崎町山崎	9.00	散布施	平安・中世	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.11.19~R1.11.19
203	林木遺跡	韮崎市山崎町山崎	5.00	散布施	平安	農業基盤整備事業(農道含む)	韮崎市教育委員会	R1.10.23~R1.10.23
204	原田遺跡	韮崎市穴山町原田	12.00	集落跡	平安・五世	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.11.4~R1.11.4
205	次第背山遺跡	韮崎市穴山町原田	3.00	散布施	縄文・平安・五世	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.12.5~R1.12.5
206	次第背山遺跡	韮崎市原田町原田	8.00	散布施	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.17~R1.12.17
207	引付前遺跡	韮崎市大原町引付前	3.00	散布施	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.11~R1.12.11
208	段第第25跡	韮崎市藤井町立ヶ峰	3.00	集落跡	縄文・平安・古墳・平安	その他の開発	韮崎市教育委員会	R1.10.30~R1.10.30
209	下野斯遺跡	韮崎市藤井町立ヶ峰	3.00	集落跡	縄文・平安・古墳	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.10.29~R1.10.29
210	原田遺跡	韮崎市穴山町原田	3.00	散布施	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.11.15~R1.11.15
211	鬼塚2号	韮崎市富士見町二丁目	3.00	散布施	平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	R2.12.18~R2.12.18
212	鬼塚1番・番道跡	韮崎市本町一丁目	3.00	散布施	縄文・平安・古墳・奈良・平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.3~R1.12.3
213	鬼塚	韮崎市本町一丁目	3.00	集落跡	平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.4~R1.12.4
214	下野斯遺跡	韮崎市穴山町原田	3.00	集落跡	縄文	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.10~R1.12.10
215	長野原上野塙遺跡	韮崎市藤井町立ヶ峰	3.00	散布施	平安	個人住宅	韮崎市教育委員会	R1.12.26~R1.12.26



2019年度 山梨県内児童調査 試験・確認調査を含む)一覧表 (1 市町村教育委員会による調査)

No.	調査の名称	所 在 地	面積(m ²)	調査の種類	調査の目的	調査主体	調査期間
216	下呂原道跡	甲府市井町山ノ内	12.90	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	古墳	R2.2.17~R2.2.17
217	石木道跡	郡山市穴山町石木	3.00	集落跡	縄文・弥生・古墳・平安	個人住宅	R2.3.3~R2.3.3
218	長坂上・蛇道跡	郡山市龍町川口	4.00	散歩地	個人住宅	個人住宅	R2.3.4~R2.3.6
219	二ノ塚跡	郡山市龍町川口二之塚	7.00	城郭跡	中世	農業基盤地質調査(農地含む)	R1.8.5~R1.8.5
220	甲斐市下条	甲斐市下条	700.00	集落跡	古墳・平安	甲斐市教育委員会	R1.7.23~R1.7.25
221	西ノ保入道跡	北杜市武甲山二沢	23.500.00	集落跡	縄文・平安・中世	農業基盤地質調査(農地含む)	R1.5.27~R2.3.31
222	西ノ保入道跡(川原野)(耕原)	南アルプス市有野	8.00	集落跡	古墳・近代	甲斐アルプス市教育委員会	R1.11.1~R2.3.31
223	史跡 新作城跡	郡山市	15.00	城郭跡	中世	史跡整備	R1.10.27~R2.3.31
224	史跡 津田氏跡跡	甲府市占谷町中町	200.00	城郭跡	中世	史跡整備	R1.10.1~R2.3.31

2019年度 山梨県内児童調査 試験・確認調査を含む)一覧表 (2 県教育委員会による調査)

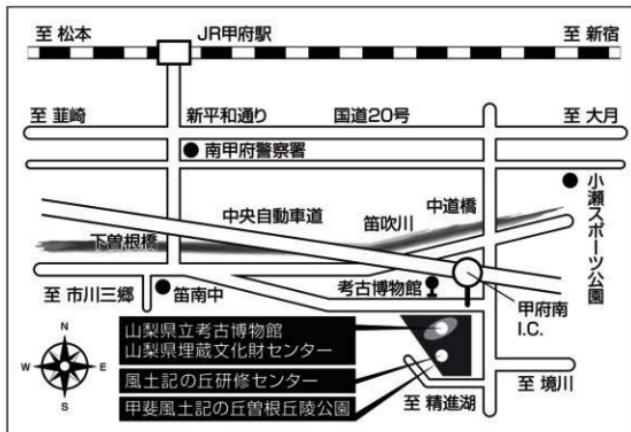
No.	調査の名称	所 在 地	面積(m ²)	調査の種類	調査の目的	調査主体	調査期間
1	日吉原上・河原原道	中央市市所	45.00	散歩地	古墳・奈良	直道	R1.5.13~R1.5.17
2	馬耳山通路	甲府市山中湖山・麻原	80.00	散歩地	山中湖	直道	R1.5.15~R1.5.16
3	乞食地外	中央市上三輪	17.90	散歩地	山中湖	直道	R1.5.22~R1.6.14
4	乞食地外	郡山市石和町高瀬川	31.300	集落跡	山中湖	直道	R1.5.27~R1.5.31
5	乞食地外	南アルプス市山ノ内	80.00	集落跡	山中湖	直道	R1.5.27~R1.5.39
6	新居原通路	西八代郡瑞穗町・瑞穂町山ノ内	70.00	集落跡	山中湖	直道	R1.5.29~R1.5.30
7	乞食地外	甲府市白井町	16.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.3~R1.6.4
8	乞食地外	南八代郡富士見町高下	94.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.3~R1.6.4
9	乞食地外	南アルプス市山ノ内	270.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.11~R1.6.14
10	乞食地外	甲府市下曾根町	65.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.11~R1.6.17
11	乞食地外	中央市市原	125.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.19~R1.6.20
12	猪戸門通路	南牧市山ノ内	30.00	散歩地	学校建設	直道	R1.6.20~R1.6.21
13	乞食地外	南八代郡富士見町天神中津	266.4	散歩地	学校建設	直道	R1.6.25~R1.6.25
14	新居原通路	西八代郡瑞穂町・瑞穂町山ノ内	171.00	集落跡	学校建設	直道	R1.7.16~R1.9.13
15	乞食地外	中央市山ノ内	11.50	散歩地	学校建設	直道	R1.7.18~R1.7.18
16	乞食地外	南アルプス市山ノ内	20.00	散歩地	学校建設	直道	R1.7.22~R1.7.22
17	乞食地外	中央市市原	16.00	散歩地	学校建設	直道	R1.7.29~R1.7.29
18	乞食地外	中央市山ノ内	128.50	散歩地	学校建設	直道	R1.8.20~R1.8.22
19	馬耳山通路	甲府市山ノ内	362.00	散歩地	学校建設	直道	R1.8.22~R1.11.29
20	乞食地外	南八代郡富士見町最寄寺	13.50	集落跡	その他の施設	直道	R1.8.27~R1.8.27
21	三保通跡	郡山市山ノ内	12.00	集落跡	学校建設	直道	R1.9.26~R1.9.26
22	新居原通路	西八代郡瑞穂町・瑞穂町山ノ内	575.00	集落跡	学校建設	直道	R1.10.15~R12.24
23	南原通路	南八代郡富士見町山ノ内	500.00	散歩地	古墳・平安・中世	直道	R1.10.21~R1.10.31
24	乞食地外	南八代郡富士見町山ノ内	164.00	散歩地	古墳・平安・中世	直道	R1.10.28~R1.10.31
25	北原通路	南八代郡富士見町山ノ内	450.00	散歩地	古墳・平安・中世	直道	R1.11.18~R1.12.27
26	北原二重跡	中央市山ノ内	388.00	散歩地	古墳・中世・近世	直道	R1.11.25~R1.11.29
27	乞食地外	南八代郡那須塩原市	96.00	散歩地	直道	R1.12.11~R1.12.13	
28	乞食地外	中央市山ノ内	83.00	散歩地	直道	R1.12.16~R1.12.18	
29	新居原通路	南アルプス市山ノ内	115.00	散歩地	直道	R1.12.21~R1.12.21	

2019年度 山梨県内発掘調査（試掘・確認調査を含む）一覧表（2 県教育委員会による調査）

No.	遺跡の名稱	所 在 地	面積 (m ²)	遺跡の特徴	時代	調査目的	調査主体	調査期間
30	包埋地外	西八代市山田二郷町山田町4丁目	156.0			古墳	山梨県埋蔵文化財センター	R2.1.25～R2.26
31	包埋地外	南巨摩郡市石和町川井川	3612.43			道路	山梨県埋蔵文化財センター	R2.2.25～R2.30
32	包埋地外	南巨摩郡富士河口湖町下高井下	89.63			道路	山梨県埋蔵文化財センター	R2.2.13～R2.29
33	「文」字型土塁跡	中央市丸山島	1500.00	土塁地	平安・中世・近世	道路	山梨県埋蔵文化財センター	R2.2.17～R2.24
34	包埋地外	南巨摩郡富士河口湖町下高井下	65.00			道路	山梨県埋蔵文化財センター	R2.2.27～R2.27

2019年度 山梨県内発掘調査（試掘・確認調査を含む）一覧表（3 地方公共団体以外による調査）

No.	遺跡の名稱	所 在 地	面積 (a)	遺跡の特徴	時代	調査目的	調査主体	調査期間
1	猪子・大木ノ下遺跡	甲州市山下大木ノ下	130.00	集落跡	平安	住居	公益財團法人山梨文化振興会所	R1.5.30～R1.8.15
2	甲州市下可道跡	甲州市山下内之原1丁目	203.00	城下町	近世	住居	公益財團法人山梨文化振興会所	R1.6.1～R1.8.10
3	吉田宿跡	甲州市吉田町内1丁目	116.00	散布地		住居	公益財團法人山梨文化振興会所	R1.7.16～R1.10.18
4	丸山古墳	笛吹市奥坂町見田	40.00	古墳	古墳・平安・中世・近世	住居	公益財團法人山梨文化振興会所	R1.8.8～R1.8.15
5	金山林道跡	山梨市有鹿町寺	700.00	散歩地	編文・平安	住居	筑波大学文芸歴史学科	R1.7.22～R1.9.30
6	高瀬川遺跡	北杜市明野町上神取	100.00	集落跡	織文	住居	金沢大学歴史文化資源学研究会	R1.9.11～R1.9.23
7	甲州市中央二丁目	甲州市中央二丁目	277.00	城下町	近世	住居	七ヶター	
8	甲州市下可道跡	山梨市下可道	175.00	散歩地	織文・古墳・奈良・平安	集合住宅	国際文化株式会社	R2.1.6～R2.2.28
						農業基盤整備事業(農道舗合)	山梨県農業整備課	R2.3.18～R2.5.31



●路線バスご利用

- 甲府—豊富(中道橋経由)「考古博物館」で下車
- 高速バスのご利用(2時間)
バスタ新宿……甲府南回り、甲府行「中道」下車・徒歩5分

年 報 36

印刷日 2020年 9月 4日

発行日 2020年 9月 4日

発行所 山梨県埋蔵文化財センター
山梨県甲府市下曾根町923
TEL 055-266-3016
FAX 055-266-3882
E-mail : maizou-bnk@pref.yamanashi.lg.jp

印刷所 青柳印刷株式会社
山梨県甲斐市長塚526
TEL 055-277-5511

